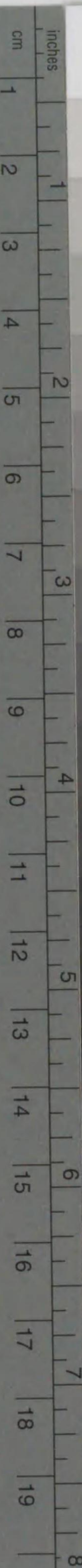


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



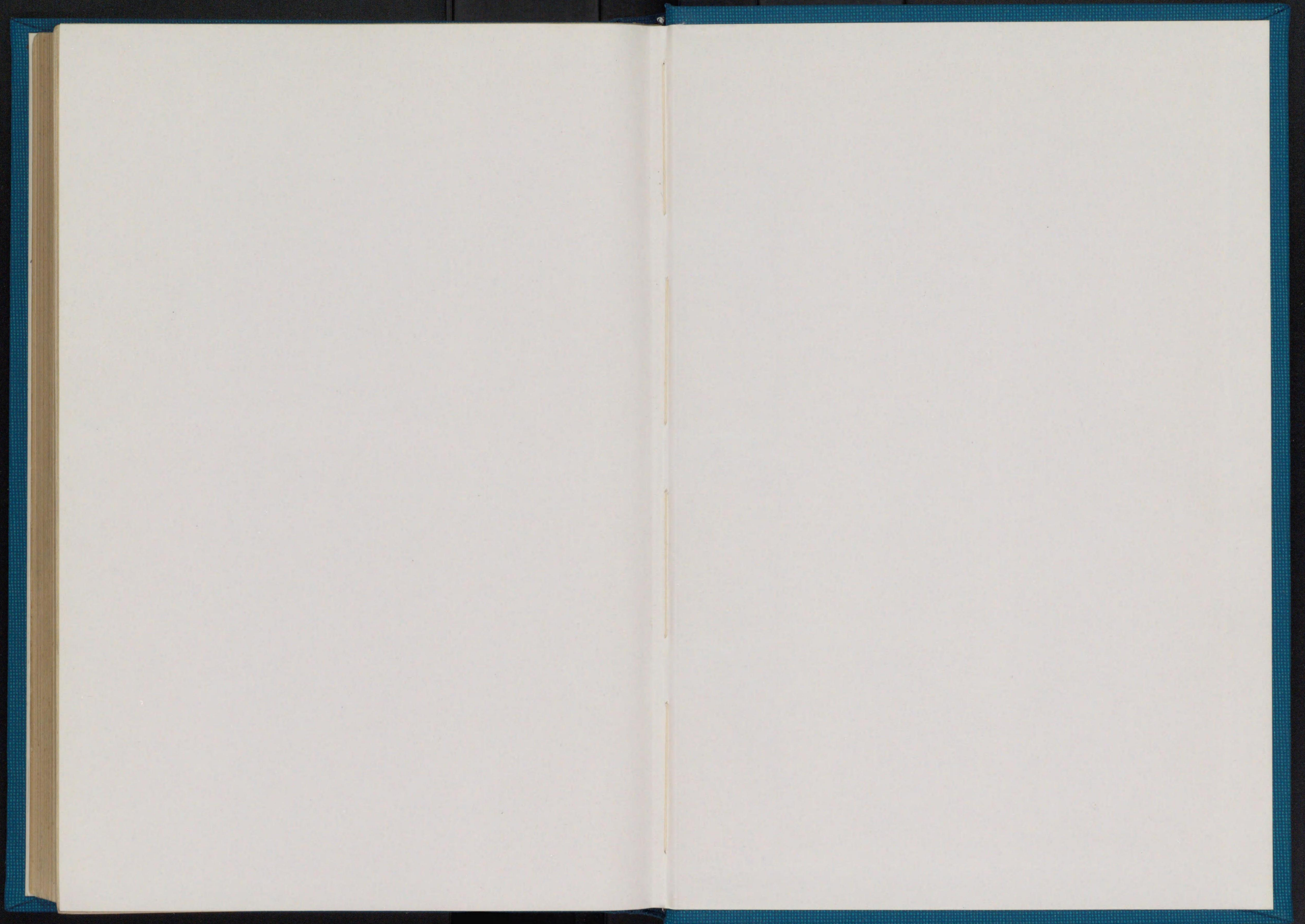
Kodak Color Control Patches

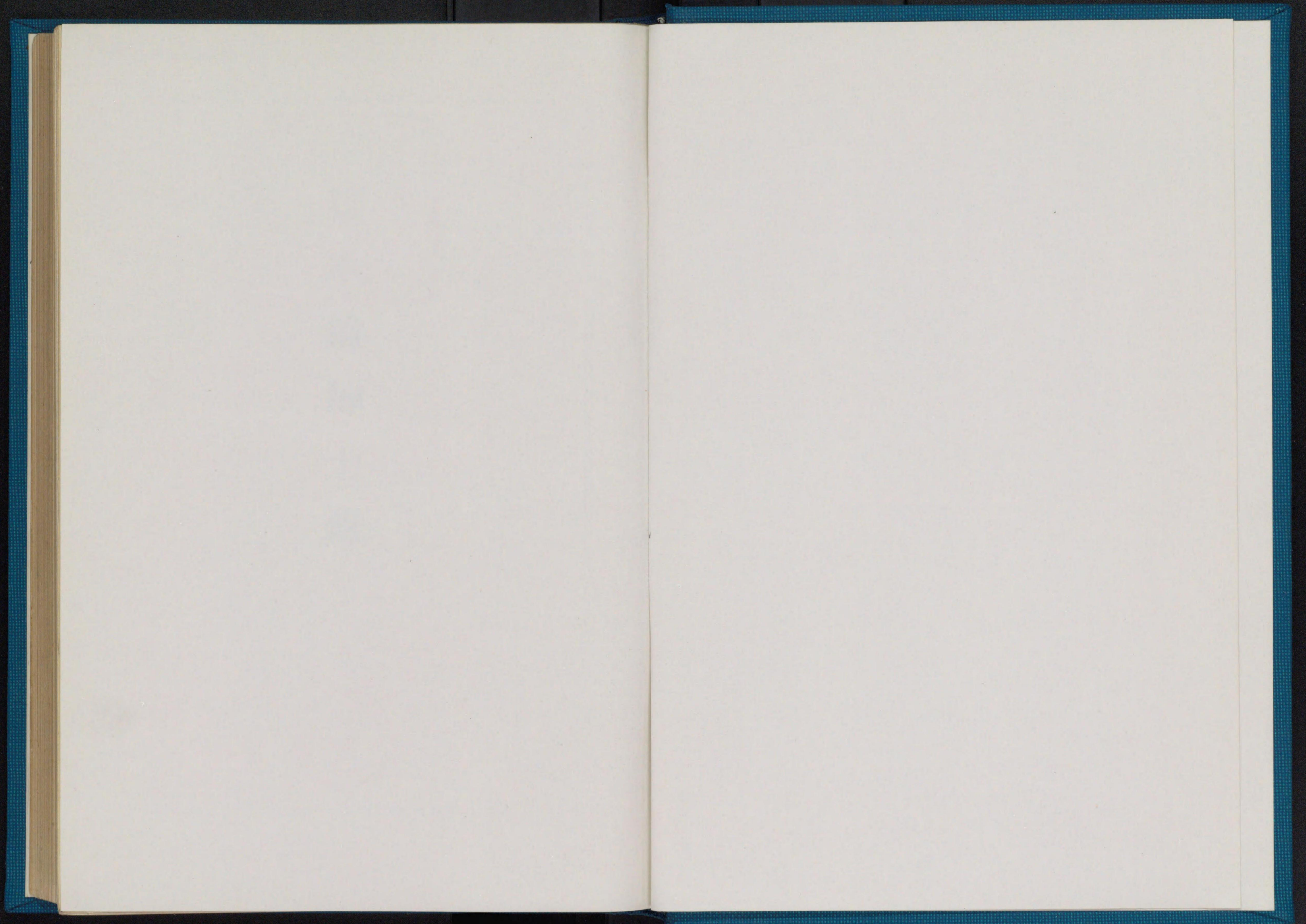
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]

592
7

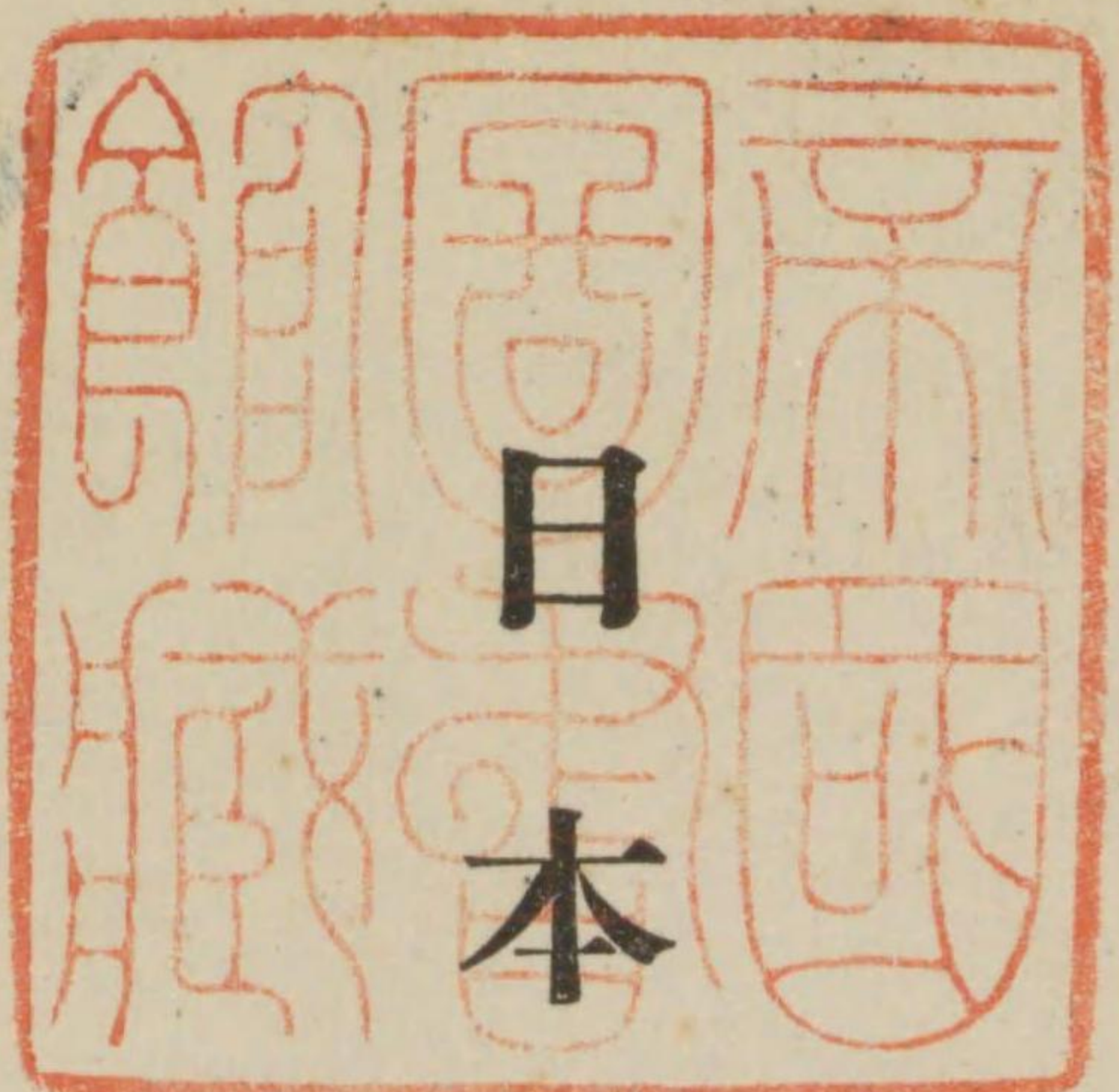
592-87
1200501526511





五ノ下-13

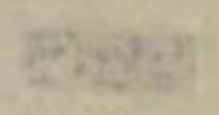
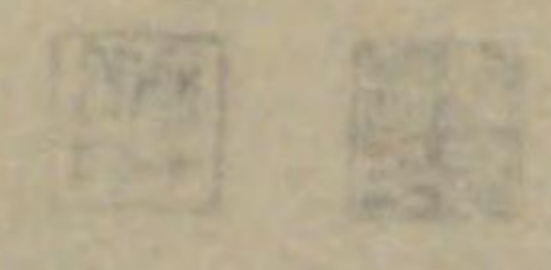
592
87



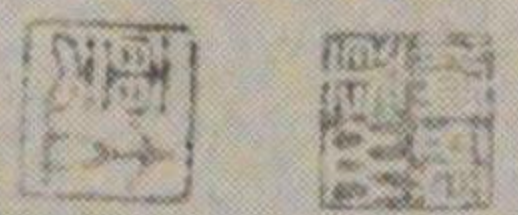
橋
紳
士
錄



義在正巳

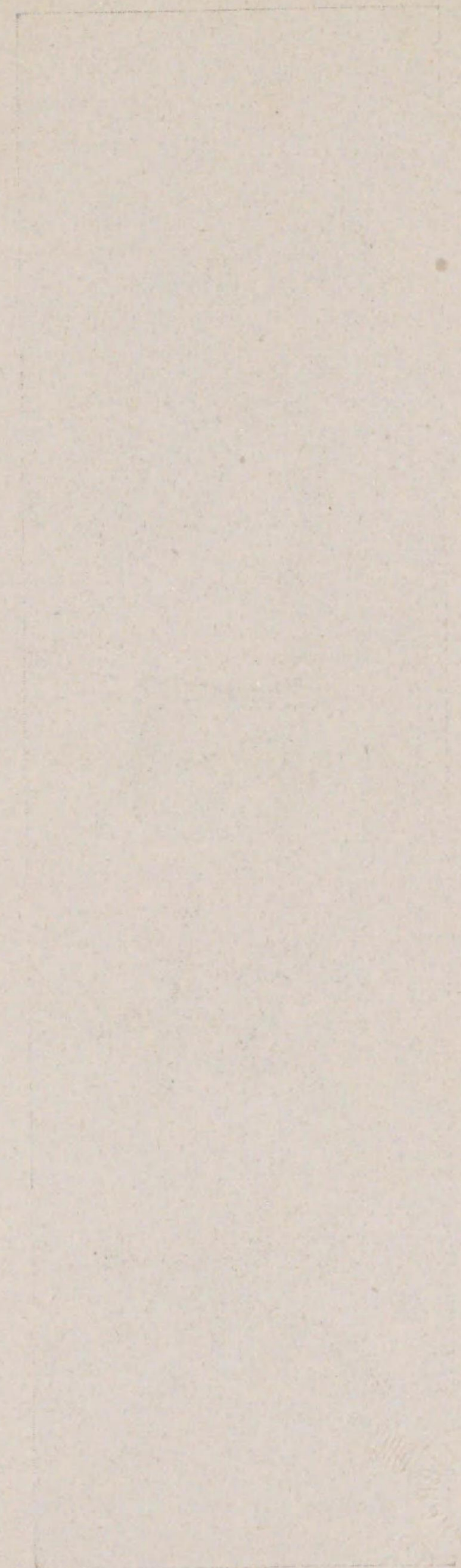


是已正在義



真如家格以
帝考伟觀

嘉州題



真家楷以
帝考伟觀

嘉州題



序

自治の精神を熾にし、健全なる發達を促し、福利の増進を圖るは、吾人の義務にして、時と處とを問はずなるなり。況して復興途上の東京市に於ては、其必要切なるものあり。佐藤君は、我日本橋區が帝都の中心であり、商業の中樞であり、紳士紳商の一大集團地たるに鑑み、日本橋紳士録を編纂し、區内自治精神作興の基礎たらしめん意圖なりと言ふ。洵に機宜の企てと言ふべく、幸に相互の連絡機關となり、共存共榮の資たるを得ば、蓋し著者の本懐たるべし。一言を蕪して序とす。

昭和四年七月

日本橋區長

田村 瑞穂

自序

憲政の進歩を促さんご欲せば自治制の根柢を培はざる可からず。然らば自治制の善美を期するの道如何。自治制下に生活する住民の聯絡機關を完備し近隣の交際を圓滑にし、茲に共助共扶の美風を涵養するに如くはなし。予短才自ら揣らず我が區政の忽せにす可からざるを慮り、乃ち日本橋紳士録附商工大觀を發行し、日本橋區民の共存共榮の資に供し、以て自治制の發達に貢獻せんと欲す。此の舉些事に屬す。雖も是れ予の微志の存する所なり。

今其の收録する所の概略を述べれば、區政要覽、著名の商工業者及紳士の履歷、銀行會社及町會の沿革、役員、在郷軍人團及青年團役員、當區選出、貴衆兩院議員、府會市會及區會議員、官公署長及重なる職員、其他

一般我が區政に關係あるものを網羅し、一目の下に瞭然其の聯絡關係を知悉せしむるに務めたり。江湖の諸賢幸に一覽の榮を賜はらば予の名譽之れに過ぎず。

終りに臨みて予の此の舉に賛意を表せられたる日本橋區内の有志諸君、並に編輯の材料を提供せられたる日本橋官公署吏員諸君に向つて謹んで感謝の意を表す。

昭和四年七月

佐藤正吾

日本橋區内の不況を緩和するに努むるの材料を採集せられたる日本橋官公署吏員諸君に向つて謹んで感謝の意を表す。

昭和四年七月

佐藤正吾

頁	誤	正
二〇九	秋庭伊兵衛	小傳馬上町一八
同	同	(電話二〇六六)
二一七	池田秀太郎	蠣殻町二ノ五四
二一九	飯塚徳義	飯塚徳藏
二二一	伊藤美代松	(電話浪花四四六二)
二三四	加藤梯次	小傳馬町三ノ一四
二四四	川名又之輔	箱崎町二ノ一八
二六六	櫻井廉造	櫻井鹿造
二六九	庄野又兵衛	濱町三ノ一
二八三	高橋機	高橋熾
二八四	玉川彦治郎	通二ノ四
二八九	出岡末吉	出岡米吉
同	殿木松造	濱町二ノ二一
二九〇	鳥光乙吉	鳥光乙敷
二九一	内藤民光	内藤民吉
同	中尾金太郎	(電話浪花一八七〇)
三〇三	根岸政治	根本政治
三〇五	羽田新次郎	羽田野新次郎
三〇七	林吉右衛門	本船町一六
三一	熊取谷作藏	大傳馬町一
同	藤木清太郎	濱町一ノ二、三
三一六	本間富市	濱町二ノ一二
三一八	間野二乗	間野二乗
三一九	松浦清三郎	元大工町一二
三二三	宮下譽志男	宮本譽志男
三二六	森總吉	蠣殻町一ノ二
三二七	矢島嘉三郎	矢島喜三郎
同	同	蠣殻町一ノ三
三二八	柳田源三	柳田諒三
三三四	渡邊徳	渡邊伍
三三六	佐野初太郎	鐵砲町一四
三三七	佐々木次郎	佐々木文次郎
同	同	箱崎町四ノ一
三六六	宮下榮	宮下學
三六九	株式山口銀行	五千萬圓也
四六五	會社東京支店	松島町十一番地
四七三	近江屋モスリン店	濱町三丁目一番地
四九一	鈴春商店	鈴春商店

三一九頁、松浦清三郎氏本文の終へ。
 猶氏は、嚮に日本橋區會議員に選ばれ、次いで東京市會議員に選
 ばれ、何れも現任してゐられる。
 三七四頁、末尾へ。

山口工務所 山口政次郎
 箱崎町四ノ一

日本橋紳士録 目次

……題 字……

……序 文……

頭 山 滿
故 箕 浦 勝 人

序 日本橋區長 田 村 瑞 穂
自序 佐 藤 正 吾

區 勢 要 覽 …… 一

江戸時代前後の日本橋區 …… 三

位置・面積・廣袤・高低 …… 五

土地 種 別 …… 七

戸 數 及 人 口 …… 九

財 政 …… 一七

神社及寺院……………三五

教 育……………三七

區役所沿革……………四〇

帝國在郷軍人會日本橋區分會……………四〇

日本橋區海兵團……………四四

日本橋區青年團……………四五

日本橋區女子修養會……………四七

日本橋區名譽職待遇者……………四八

日本橋區役所課長、技師……………五〇

町 會 一 覽……………五三

町名變更一覽……………八五

銀行・會社一覽……………九一

著名商工業者一覽……………一一七

日本橋區紳士錄……………一二〇一

あ の 部……………二〇三

か の 部……………二三四

さ の 部……………二六一

た の 部……………二七八

な の 部……………二九一

は の 部……………三〇五

ま の 部……………三一七

や の 部……………三二六

わ の 部……………三三四

補 の 部……………三三九

續銀行會社一覽……………三六七

續著名商工業者一覽……………三七五

著名商工業者案内……………四六三

編 纂 後 記……………四九九

(區勢要覽)

橋	日
區	本

區勢要覽

第一編	總論	一
第二編	區勢	一
第三編	區界	一
第四編	區名	一
第五編	區界	一
第六編	區名	一
第七編	區界	一
第八編	區名	一
第九編	區界	一
第十編	區名	一
第十一編	區界	一
第十二編	區名	一
第十三編	區界	一
第十四編	區名	一
第十五編	區界	一
第十六編	區名	一
第十七編	區界	一
第十八編	區名	一
第十九編	區界	一
第二十編	區名	一
第二十一編	區界	一
第二十二編	區名	一
第二十三編	區界	一
第二十四編	區名	一
第二十五編	區界	一
第二十六編	區名	一
第二十七編	區界	一
第二十八編	區名	一
第二十九編	區界	一
第三十編	區名	一
第三十一編	區界	一
第三十二編	區名	一
第三十三編	區界	一
第三十四編	區名	一
第三十五編	區界	一
第三十六編	區名	一
第三十七編	區界	一
第三十八編	區名	一
第三十九編	區界	一
第四十編	區名	一
第四十一編	區界	一
第四十二編	區名	一
第四十三編	區界	一
第四十四編	區名	一
第四十五編	區界	一
第四十六編	區名	一
第四十七編	區界	一
第四十八編	區名	一
第四十九編	區界	一
第五十編	區名	一
第五十一編	區界	一
第五十二編	區名	一
第五十三編	區界	一
第五十四編	區名	一
第五十五編	區界	一
第五十六編	區名	一
第五十七編	區界	一
第五十八編	區名	一
第五十九編	區界	一
第六十編	區名	一
第六十一編	區界	一
第六十二編	區名	一
第六十三編	區界	一
第六十四編	區名	一
第六十五編	區界	一
第六十六編	區名	一
第六十七編	區界	一
第六十八編	區名	一
第六十九編	區界	一
第七十編	區名	一
第七十一編	區界	一
第七十二編	區名	一
第七十三編	區界	一
第七十四編	區名	一
第七十五編	區界	一
第七十六編	區名	一
第七十七編	區界	一
第七十八編	區名	一
第七十九編	區界	一
第八十編	區名	一
第八十一編	區界	一
第八十二編	區名	一
第八十三編	區界	一
第八十四編	區名	一
第八十五編	區界	一
第八十六編	區名	一
第八十七編	區界	一
第八十八編	區名	一
第八十九編	區界	一
第九十編	區名	一
第九十一編	區界	一
第九十二編	區名	一
第九十三編	區界	一
第九十四編	區名	一
第九十五編	區界	一
第九十六編	區名	一
第九十七編	區界	一
第九十八編	區名	一
第九十九編	區界	一
第一百編	區名	一

序詞

江戸時代前後の日本橋區

江戸前期の日本橋區の土地は武藏國豊島郡の園内だつた。當時豊島郡に豊島驛があつて、荏原郡の大井より下總の國府市川——に至る途路の一驛に當つてゐて、現時の日本橋區がそれだと謂はれてゐる。

其後、此の地は平河村と稱呼されるやうになつた。江戸城下の小川、或は小石川の水が集合する川を平河と云つて、其の川の名が土地名として稱へられたものである。平河の川では、平河の所謂入江であつて、江戸とは入江の水門、江口など云ふ意味から、現在の江戸橋附近を江戸と呼んだ。これが江戸の名稱の起因地であるといふ。平河村は何時しか江戸となり、長祿年間太田道灌が此所に築城して、在城三十年に及び人呼んで江戸城と稱した。今を去る四百年前のことである。江戸橋の南岸はもと四日市場と云つて四の日に市が立つた事があつた。此處から海運

橋邊に商船輻輳し、文明年間、江戸の一港として繁榮した。其後百年間舊來の江戸は漸く衰微に向つた。

天正十八年八月朔日徳川家康が入城した。後二十日を経ない月の十八日先づ橋普請に着手し、新築を要するもの二百七十三、急を要するもの百五あつたといふ。常盤橋は同月二十六日落成、江戸本町より奥羽街道の竣成を見た譯であつた。又船入堀普請を始め、日本橋川を改修した。次で九月朔日本町の町割に手を着け、常盤橋より東は兩國附近、南は日本橋區より、北は筋違邊に至り、本町々割の制は京間——六尺五寸を一間とする——によつたもので、其の後の町割は京間と

田舎間——六尺を一間とする——の制を交へたと謂はれてゐる。

慶長六年閏十一月、江戸最初の火災が起つた。これは駿河町より火を發して全市焼失したが、その爲茅葺を改めて板葺と成した。本町二丁目瀧山某、屋根の半分を瓦葺として、世人はこれを半瓦彌次兵衛と稱したといふ。

關ヶ原の役後、家康は征夷大將軍に任ぜられ、江戸は全國の首府となつた。さうして市街の大修繕を加へる爲、大土木事業が起つた。先づ全國七十有餘の諸侯に命じて一千石毎に一人づゝ人夫を出さしめ、神田山を削堀して濱町以南銀座附近までの海洲を埋立て、溝渠を通じ橋を架した。改修された日本橋川に日本橋を架設して、小舟町堀江町の入堀、即ち東西堀留川を新鑿して中橋廣小路に改鑿した入江と合して湊口を開き、江戸橋を架したのである。

慶長九年二月四日、日本橋を以て全國里程の起點とし、元和三年日本橋川は箱崎靈岸島間に出來した新堀によつて隅田川に通じるに至つた。斯くして寛永年間には江戸中央市街の體裁略備はり、楓川以西及東堀留川西岸より西北の一體は町家となり、楓川以東は武家及寺地となつた。又蠣殻町附近の海岸は諸侯の藏屋敷となり、矢ノ倉附近より神田川南岸一帯は寺地と成つたのである。

次いで明曆三年の江戸大火は五百餘町を灰燼に歸した。幕府は市區の大改正を斷行して火除地を作り、寺院の移轉替地を命じ江東の地を開拓して、本所、深川に屋敷を設けて兩國橋を架設した。又道路を擴張して、一町毎に井戸を堀り、本銀町元四日市町に土手藏が出來、此れが防火堤の用を爲したのであつた。

元祿四年龍閑川新鑿せられ、次いで六年新大橋、十一年永代橋が架設された。箱崎町の一部は修填されて、安永元年中洲に築かれ——中洲は後撤廢され、明治十九年更に埋立てられて今の中洲となつた——爾來江戸繁榮の中心地として年と共に發展したのであつた。

明治維新後、濱町川、龍閑川の取擴げ、中洲の修築、入堀の埋立などが、その重なる工事である。

一、位置、面積、廣袤、高低

位置、東京市の略中央に位して、東は隅田川、西は麴町區、南は京橋、北は神田區、淺草區に面してゐる。

面積、〇・二九方里、八八五・三七二坪。

廣袤、東西十七町餘（東端、新大橋、西端、龍閑橋）南北十九町餘（南端、龜島町二丁目、北端、馬喰町四丁目）

土地の高低、最高二二尺、本石町二丁目、最低九尺、濱町二丁目。

二、區劃

日本橋區（町數百四十一河崎地二十）を分つて七部とする。此れは明治十二年一月東京府會にて各部毎に若干の議員を選出した沿革上、今日迄稱呼されてゐる名稱である。

一の部

本銀町一丁目、本銀町二丁目、本銀町三丁目、本銀町四丁目、本石町一丁目、本石町二丁目、本石町三丁目、本石町四丁目、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、本町四丁目、金吹町、十軒店町、岩附町、本草屋町、駿河町、本兩替町、北鞆町、品川町、室町一丁目、室町二丁目、室町三丁目、瀬戸物町、伊勢町、長濱町、安針町、本小田原町、本船町、常盤町、裏河岸、品川町裏河岸、米河岸、魚河岸。

二の部

龜井町、小傳馬上町、大傳馬鹽町、鐵砲町、小傳馬一丁目、小傳馬二丁目、小傳馬三丁目、大傳馬町一丁目、大傳馬町二丁目、通旅籠町、通油町、新大坂町、元濱町、彌生町、富澤町、高妙町、浪花町、住吉町、新和泉町、長谷川町、田所町、堀留町一丁目、堀留町二丁目、堀留町三丁目、新材木町、新乗物町、岩代町、葺屋町、堺町、芳町、新葭町、元大阪町、堀江町一丁目、堀江町二丁目、堀江町三丁目、堀江町四丁目、小舟町一丁目、小舟町二丁目、小舟町三丁目、西緑河岸、東萬河岸、西萬河岸、小舟河岸。

三の部

小網町一丁目、小網町二丁目、小網町三丁目、小網町四丁目、小網中町、蠣殻町一丁目、蠣殻町二丁目、蠣殻町三丁目、松島町、北新堀町、箱崎町一丁目、箱崎町二丁目、箱崎町三丁目、箱崎町四丁目、末廣河岸、鎧海岸、北新堀河岸。

四の部

馬喰町一丁目、馬喰町二丁目、馬喰町三丁目、馬喰町四丁目、通鹽町、横山町一丁目、横山町二丁目、横山町三丁目、橋町一丁目、橋町二丁目、橋町三丁目、橋町四丁目、若松町、矢ノ倉町、薬研堀町、米澤町一丁目、米澤町二丁目、米澤町三丁目、吉川町、元柳町、新柳町、東緑河岸、新柳河岸。

五の部

村松町、久松町、濱町一丁目、濱町二丁目、濱町三丁目、中洲河岸、葛蒲河岸。

六の部

通町一丁目、通町二丁目、通町三丁目、通町四丁目、西河岸町、吳服町、元大工町、數寄屋町、檜物町、上槇町、下槇町、箔屋町、樽正町、新右衛門町、川瀬石町、平松町、佐内町、青物町、萬町、元四日市町、本材木町一丁目、本材木町二丁目、西河岸、城邊河岸、元四日市河岸、本材木河岸。

七の部

南茅場町、兜町、坂本町、三代町、北島町一丁目、北島町二丁目、龜島町一丁目、龜島町二丁目、茅場町河岸、楓河岸、龜島河岸。

三、土地種別

1 民有地

市有地、有租地三九七坪、免租地一二・一四二坪、年期免租地三九・四九九坪、計五二・〇三八坪。
私有地、有租地五三〇坪、免租地二〇・七六七坪、年期免租地二・一四五坪、震災に因る免租地五一八・六二〇坪、計五四二・〇六二坪、總計八七八・三七七坪、總面積に對する有租地の割合(百分比)〇・一一

2 國有地

公共用地、河岸地 坪、道路堤塘一三六・四三八坪、河川溝渠一四一・二五六坪、計二七七・六九四坪。

雜種地、社寺地三〇〇坪、公園地二・七四七坪、雜地六〇八坪、計三・六五五坪、合計二八四・二七七坪。

3 市有地

有租地、市有地七坪、都市計劃事業所屬地三九〇坪、計三九七坪。
免租地、市有地一三坪、都市計劃事業所屬地一〇二坪、公園七〇三坪、水道用地一七七坪、電氣局用地三三五坪、市立學校及幼稚園一〇・一八二坪、區役所用地五六七坪、其他六三坪、計一二・一四二坪。
年期免租地、基本財産河岸地三七・四二二坪、埋立地二・〇七七坪、計三九・四九九坪、合計五二・〇三八坪。

公園 (其一)

坂本公園——日本橋區坂本町——一・五六〇坪、明治二十二年七月六日開園。
兩國公園——吉川町——六〇〇坪、明治四十一年十二月一日開園。
淺草橋公園——馬喰町——區劃整理の爲近く削除、大正七年六月十一日開園。

復興局施行計劃公園 (其二)

濱町公園——濱町一丁目及二丁目、一一・〇〇〇坪。
常盤公園——本銀町及本石町九〇〇坪。
久松公園——久松町六〇〇坪。
十思公園——小傳馬上町六三〇坪。
箱崎公園——箱崎町三丁目七四〇坪。
蠟穀町公園——蠟穀町三丁目一・二八五坪。

四、戶數及人口

一の部

町名	戶數	男	女
本銀町 一丁目	二一五	五二八	五八〇
同 二丁目	一四三	三六九	三二五
同 三丁目	八〇	三一八	二二四
同 四丁目	一四一	二八七	二二四
本石町 一丁目	一八五	五五二	五五一
同 二丁目	八三	三一六	二二九
同 三丁目	一四四	五〇七	三二二
同 四丁目	一九八	六七七	五六四
本町 一丁目	五三	一九五	一五〇
同 二丁目	二九	三〇九	一二七
同 三丁目	五四	三六一	一八五
同 四丁目	六九	二七六	一三二
金吹町	二四	八三	五六
十軒店町	三七	一二五	七七
岩附町	三七	一三四	九三

駿河町	一	二二	一
本兩替町	七	二二三	一七
北鞆町	四四	一六五	九七
品川町	八六	二六七	二四一
同 裏河岸	五八	一八二	一五〇
室町一丁目	四五	二七五	一四二
同 二丁目	五六	二三〇	一二五
同 三丁目	七六	二六九	一五九
瀬戸物町	一七七	六一五	四七五
伊勢町	一二五	四四三	二三四
長濱町	九八	二四〇	二〇三
安針町	八八	二三〇	一七九
本小田原町	三四〇	九四二	七五四
本船町	二六五	七七五	四八一
龜井町	一八七	五九六	四三七
小傳馬上町	一一七	六五一	五二九
大傳馬鹽町	一七三	五五五	四五二
鐵砲町	一四一	四二五	三二一
小傳馬町	一七〇	二五四	二二五

同 二丁目	九八	二八二	二〇〇
同 三丁目	九五	四四二	二八〇
大傳馬町一丁目	一〇七	五六三	二一〇
同 二丁目	一六〇	七二七	五二六
通旅籠町	六九	四二一	二五二
通油町	八七	六五一	三〇五
新大坂町	二五	八一五	九七
元濱町	五二	三〇四	一八三
彌生町	三八	二九六	八八
富澤町	一〇七	七二四	二三七
高砂町	一六七	五〇二	四八〇
浪花町	二九四	五七五	七四八
住吉町	二〇四	五〇五	八四一
新和泉町	一四四	四三七	三五四
長谷川町	一一二	六五八	三二四
田所町	八六	六七九	二七七
堀留町一丁目	一七	六二	四九
同 二丁目	三九	三〇四	一一八
同 三丁目	四三	一五一	八六
新材木町	一七三	五五四	四九七

新乘物町	八六	二八三	二四六
岩代町	五八	二一〇	二二三
葺屋町	一一一	三六七	二五〇
堺町	一二九	四六〇	二八〇
芳町	七五	二五一	二四二
新葎町	九一	二七八	二六二
元大坂町	一七五	四四一	六二〇
堀江町	四八	二三三	一一八
同	五七	二八五	一一〇
同	七二	二四六	二〇四
同	七二	八三	四七
小舟町	三七	一八六	九七
同	七六	二九五	一五二
同	三一	一五七	八三
三の部			
小網町	三九	一七四	七六
同	七三	三七六	二四五
同	一三九	四六二	四三八
同	一三五	五一六	四五八
小網仲町	四四	一五八	一一五

蠣殻町	一丁目	八一八	二・五八〇	二・一〇九
同	二丁目	一・八六三	四・八九三	五・一二四
同	三丁目	九四九	二・三〇七	二・〇四八
松島町	同	五七〇	一・二一〇	九九七
北新堀町	同	一八九	五六五	四一七
箱崎町	一丁目	六九	二三九	一七五
同	二丁目	三五三	九五八	一・〇二五
同	三丁目	—	—	—
同	四丁目	六六八	一・七八五	一・七二七
四の部				
馬喰町	一丁目	一五九	六四一	四二九
同	二丁目	一八五	七七一	四五八
同	三丁目	二八七	七九七	一・八〇二
同	四丁目	五四〇	一・六六九	一・四八四
通鹽町	同	七三	四九三	二八二
横山町	一丁目	一一一	五六一	三〇七
同	二丁目	一四二	七二九	三九二
同	三丁目	九五	五〇七	三三七
同	四丁目	八五	四四九	二七六
橋町	一丁目	—	—	—
同	二丁目	五六	三二五	二三五

本材木河岸	一六七	六〇五	四五三
七の部			
南茅場町	二五〇	一・一五三	七三五
兜本町	八九	三七〇	一四三
坂本町	二五〇	六八七	四六〇
三代町	一五〇	五〇五	三八七
北島町一丁目	三二六	一・一六二	九六八
同二丁目	四八二	一・二二九	一・二二〇
同二丁目	四八二	一・二二九	一・二二〇
龜島町一丁目	四八五	一・四九八	一・三七一
同二丁目	三五四	八五二	九一〇

五、財政

區歲入 (經常部)

財產により生ずる收入	大正十四年度豫算	大正十三年度決算
使 用 料	二二三、一〇〇・〇〇	一六、〇七一・〇〇
府 補 助 金	六八五・〇〇	一七四・〇〇
市 補 助 金	一八五、二〇六・〇四	三二二、一〇九・〇〇
寄 附 金	一〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇
繰 越 金	六四、四七三・八四	一四、一八一・〇一
雜 收 入	三、二五二・八四	三、二六九・一七
借 入 金	—	四九、三一八・〇〇
東京市交附金	六〇、〇〇〇・〇〇	—
區に屬する市税	四八、八〇〇・〇〇	五〇、四七六・一一
繰 入 金	六、〇〇〇・〇〇	一五、〇〇〇・〇〇
計	四九一、五二七・七二	四六〇、七九八・二九

區歲入 (臨時部)

濱町小學校校舍移轉補償金
計 五〇〇・〇〇
大正十四年度豫算 五〇〇・〇〇
大正十三年度決算 〇

區歲出 (經常部)

會計費 大正十四年度豫算 三、九三七・七〇
學務委員會費 四八七・五三
小學校費 九六、五一六・〇六
幼稚園費 一四、八三三・六五
商業補習學校費 一四、七三二・二〇
財產費 九一、八六九・三五
諸稅及負擔 一三〇・〇〇
雜支 一四、七五〇・〇〇
豫備費 六、八六八・四〇
計 一九九、二二四・八八
大正十三年度決算 二、七六五・一〇
二七一・六五
七九、一二一・七八
一一、九二八・〇九
九、九五八・九〇
一五、〇五七・九四
四、一八九・二四
一二三、二九二・七〇

區歲出 (臨時部)

大正十四年度豫算 大正十三年度決算
小學校費 一九、八〇七・〇〇 二四六、五六四・〇一
幼稚園費 〇 二二、五九三・八四
補助金 五〇〇・〇〇 五〇〇・〇〇
雜支 一四、八四一・八四 二、四〇二・六七
會議費 〇 一、四〇四・七五
繼續箱崎小學校建設費 一二八、一九一・〇〇
繼續濱町小學校建設費 一二九、九一三・〇〇
計 二九二、八〇二・八四 二七三、〇一五・二七

特別會計區有財產

大正十四年度末 大正十三年度
衛生恩賜金定期預金 八、九八三・八二 同
衛生恩賜金現金 〇・〇〇三 同
窮民救助資金定期預金 九八四・七三 八八四・七三
窮民救助資金現金 〇・〇〇一 同
小學校生徒獎學資金定期預金 四八、三〇一・二七 三七、八〇一・二七
小學校生徒獎學資金公債 一、〇〇〇・〇〇 同
震災記念非常準備資金定期預金 一九、四四八・四三 一八、三四七・六一
千代田小學校職員功勞者給與基金公債 一、〇〇〇・〇〇 同

同	現金	九二、一六八・三〇	九一、三〇一・五二
	區有財產定期預金	〇・〇〇一	同
	區有財產現金	一九二、八八六・五五五	一七四、三一八・九五五
計			

區特別經濟歲入

區有財產收入	大正十四年度決算	七、一四六・〇四	大正十三年度決算	五、九〇一・四九
衛生恩賜金收入		一、八八三・二一		一、二九五・〇二
窮民救助資金收入		二四九・八七		六七九・〇九
小學校生徒獎學資金收入		一三、六七〇・二二		八、一九四・七二
千代田小學校職員功勞者手當基金收入		一九〇・〇七		一三五・〇〇
震災記念非常準備資金收入		一、一〇〇・八二		一八、三四七・六一
計		二四、二四〇・二三		三四、五五二・九三

區特別經濟歲出

區有財產歲出	大正十四年度決算	六、八六六・七八	大正十三年度決算	五、六八七・七九
衛生恩賜金歲出		—		—
窮民救助資金歲出		一〇〇・〇〇		五〇〇・〇〇

小學校生徒獎學資金歲出	一三、五二六・七五	七、八八五・〇三
千代田小學校職員功勞者手當基金歲出	〇・七二	〇・七二
震災記念非常準備資金歲出	一、一〇〇・八二	一八、三四七・六一
計	二一、五九五・〇七	三三、四二一・一五

租稅調定額並一人一戸當負擔額一覽(其一)

國稅の部(一) 直接國稅

地租	大正十四年度	三七八、一二七 ^四	大正十三年度	一、九九〇 ^四
國稅		二、五四九 ^八		〇、〇〇五 ^八
納稅者一人當		一四八 ^四 ・三四三		三九八 ^四 ・〇〇〇
本區人口一人當		三、六三八		一、〇二〇
本區戶數一戸當		二〇、二九四		〇、一二二

第一種所得稅

國稅	大正十四年	一九、五六三、九三六	大正十三年	七、六四九、一〇五
納稅人員	〇、五九七	〇、三三二		
納稅者一人當	三一、〇九五、三七〇	二三、〇三九、四七三		
本區人口一人當	一七八、六一〇	八〇、一二五		
本區戶數一戶當	九九六、三四六	四三四、一六四		

第二種所得稅

國稅	大正十四年	一、九〇一、一二五	大正十三年	一、八二五、一一一
納稅人員	二、三〇二	一、三七五		
納稅者一人當	八二五、八五七	一、三二七、三五四		
本區人口一人當	一八、二九一	一九、一一八		
本區戶數一戶當	一〇二、〇三五	一〇三、五九三		

第三種所得稅

國稅	大正十四年	二、五五九、一五九	大正十三年	二、九一四、八〇一
----	-------	-----------	-------	-----------

營業稅

納稅人員	大正十四年	三六、六五三	大正十三年	四〇、九四〇
納稅者一人當	六九、八二〇	七二、六六二		
本區人口一人當	二四、六二二	三一、一六二		
本區戶數一戶當	一三七、三五二	一六八、八五〇		

相續稅

國稅	大正十四年	三、五〇八、七九四	大正十三年	三、二六一、六九〇
納稅人員	一一、〇五〇	〇、八一五		
納稅者一人當	二九一、一八五	四、〇〇二、〇七三		
本區人口一人當	三三、七五九	三四、一六六		
本區戶數一戶當	一八八、三二〇	一八五、一三三		
國稅	大正十四年	四五、一三九一	大正十三年	二九四、六七一
納稅人員	〇、二四〇	〇、〇八七		
納稅者一人當	一、八八〇、七九五	三、三八七、〇三二		
本區人口一人當	四、三四三	三、〇八六		
本區戶數一戶當	二四、二二六	一六、七二五		

國稅の部(二)

—直接國稅—

通行稅

國稅人員	大正十四年	二、〇二七	大正十三年	〇、七八七
納稅者一人當	一七二、〇〇八	〇、〇一一	二三一、五二〇	〇、〇一二
本區人口一人當	〇、〇〇一九	〇、〇〇三〇	〇、〇〇一六五	
本區戶數一戶當	〇、〇〇一〇八			

試掘鑛區稅

國稅人員	大正十四年	一、八一九	大正十三年	〇、七八七
納稅者一人當	二二七、三七五	八	一五七、四〇〇	五
本區人口一人當	〇、〇〇一七		〇、〇〇〇八	
本區戶數一戶當	〇、〇〇九七		〇、〇〇四四	

砂鑛區稅

國稅人員	大正十四年	九	大正十三年	—
納稅者一人當	四、五〇〇	二	—	—
本區人口一人當	〇、〇〇〇八		—	—
本區戶數一戶當	〇、〇〇〇四		—	—

兌換銀行券發行稅

國稅人員	大正十四年	一、〇四八、八七三	大正十三年	一、二七二、六五七
納稅者一人當	一、〇四八、八七三、〇〇〇	—	一、二七二、六五七、〇〇〇	—
本區人口一人當	一〇、〇九一		一一、二八三	
本區戶數一戶當	五六、二九四〇		六六、五六〇〇	

兌換銀行券制限外發行稅

國稅	大正十四年	四、〇八八、二三九	大正十三年	五、七九九、九五九
----	-------	-----------	-------	-----------

納稅人員	一	五、七九九、九五九、〇〇〇	一
納稅者一人當	四、〇八八、二三九、〇〇〇	六〇、七五五	
本區人口一人當	三九、三三四	三二九、二〇六〇	
本區戶數一戶當	一一九、四二〇〇		

國稅の部 (三)

— 間接國稅 —

酒精及酒精含有飲料水

國稅	大正十四年	八〇六	大正十三年	七二四
納稅人員	二	二	二	
納稅者一人當	四〇三、〇〇〇	三六二、〇〇〇		
本區人口一人當	〇、〇〇〇七	〇、〇〇〇七		
本區戶數一戶當	〇、〇〇四三	〇、〇〇四一		

砂糖消費稅

國稅	大正十四年	四、五一〇、〇一七	大正十三年	三、九七〇、一三二
----	-------	-----------	-------	-----------

納稅人員	六	一、九八五、〇六六、〇〇〇	二
納稅者一人當	七五一、六六九、五〇〇	四一、五八七〇	
本區人口一人當	四三、三九二〇	一二五、三四五〇	
本區戶數一戶當	二四二、〇五七〇		

織物消費稅

國稅	大正十四年	一三、九三九	大正十三年	八、三六七
納稅人員	一〇	一〇	一〇	
納稅者一人當	一、三九三、九〇〇	八三六、七〇〇		
本區人口一人當	〇、一八四〇	〇、〇八七〇		
本區戶數一戶當	〇、七四八〇	〇、四七四〇		

取引所營業稅

國稅	大正十四年	一、〇〇五、一九七	大正十三年	六五三、四〇六
納稅人員	二	二	二	
納稅者一人當	五〇二、五九八、五〇〇	三二六、七〇三、〇〇〇		
本區人口一人當	九、六七一〇	六、八四四〇		
本區戶數一戶當	五三、九五〇〇	三七、〇八七〇		

取引税

國稅	大正十四年	大正十三年
納稅人員	四、〇九〇、五九一	二、六五一、二四九
納稅者一人當	一三三八	一一二七
本區人口一人當	一七、一八七、三五七	一一、六七九、五一一
本區戶數一戶當	三九、三五七〇	二七、七七二〇
	二一九、五四六〇	一五〇、四八五〇

租稅調定額並一人一戶當負擔額一覽 (其二)

— 地方稅の部 —

地租附加稅

府稅	大正十四年	大正十三年
府稅都市計劃特別稅	一二八、〇五八	〇、二六二
市稅	四〇、七四四	〇、〇八三
計	一七五、三一八	〇、三五九
納稅延人員	三四四、一二〇	七〇四
	二、五三六	五

第三種所得稅附加稅

納稅者一人當	一三五、六九三	一四〇、八〇〇
本區人員一人當	三、三一〇	〇、〇〇七
本區戶數一戶當	一八、四六九	〇、〇三八

府稅 大正十四年 一〇五、七九六

大正十三年 一〇七、四三二

府稅都市計劃特別稅 五〇〇、二四六

五〇八、〇五一

市稅 六〇六、〇四二

六一五、四八三

計 三七、三二三

四〇、七六四

納稅延人員 一六、二三七

一五、〇九八

納稅者一人當 五、八三〇

六、四四七

本區人員一人當 三二、五二六

三四、九三四

國稅營業稅附加稅

府稅	大正十四年	大正十三年
府稅都市計劃特別稅	一、一三三、六〇六	一、〇五五、三四六
市稅	五三五、九〇三	五三八、〇九四
	二、一三二、六〇九	一、九八五、三八四

計 三、八〇二、一一八
 納稅延人員 一一、八九七
 納稅者一人當 二九四、八〇六
 本區人員一人當 三六、五八一
 本區戶數一戶當 二〇四、〇六三

取引所營業稅附加稅

府 稅 大正十四年 一〇〇、四八三

府稅都市計劃特別稅 稅 一〇〇、四八三

計 二〇〇、九六六

納稅延人員 二四
 納稅者一人當 八、三七三、五八三
 本區人員一人當 一、九三三
 本區戶數一戶當 一〇、七八六

家屋稅同附加稅

府 稅 大正十四年 七四、一五一

三、五七八、八二四
 一一、〇三一
 二九七、四六六
 三七、四八八
 二〇三、一三四

大正十三年 六五、二八四

六五、二八四

一三〇、五六八

二四
 五、四四〇、三三三
 一、三六七
 七、四一一

大正十三年 六三、五一六

市 稅 一二五、九八八
 府稅都市計劃特別稅 稅 一二五、九八八
 計 三〇〇、一二九
 納稅延人員 二二、一四二
 納稅者一人當 一三、三九一
 本區人口一人當 二、八八七
 本區戶數一戶當 一六、一〇八

不動産所得稅

府 稅 大正十四年

府稅都市計劃特別稅 稅 四五、九四〇

計 四五、九四〇

納稅延人員 七二五
 納稅者一人當 六三、三六五
 本區人口一人當 四四一
 本區戶數一戶當 一一、四六五

一九三、五六八
 二五七、〇九四
 一九、七〇五
 一三、〇四七
 二、六九三
 一四、五九二

大正十三年

六八、七八三

六八、七八三

七五五
 九一、一〇三
 七二〇
 三、九〇四

戶別割

府	府稅	大正十四年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十四年	—
計	四六	—	—
納稅延人員	四六	—	—
納稅者一人當	三三	—	—
本區人口一人當	一、三九三	—	—
本區戶數一戶當	〇、〇〇二	—	—

府稅營業稅及同附加稅

府	府稅	大正十四年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十四年	—
計	九五、七四五	—	—
納稅延人員	一四三、六一八	—	—
納稅者一人當	一三九、三六三	—	—
本區人口一人當	一〇、一二七	—	—
本區戶數一戶當	一三、六三六	—	—

大正十四年

府	府稅	大正十三年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十三年	—
計	四六	—	—
納稅延人員	二五	—	—
納稅者一人當	二二	—	—
本區人口一人當	一、一三六	—	—
本區戶數一戶當	〇、〇〇一	—	—

大正十三年

府	府稅	大正十三年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十三年	—
計	六九、三六七	—	—
納稅延人員	一〇四、〇四九	—	—
納稅者一人當	一七三、四一六	—	—
本區人口一人當	八、三二七	—	—
本區戶數一戶當	二〇、八二五	—	—

本區人口一人當
本區戶數一戶當

一、三〇三
一一、八四六

一、八一六
九、八四三

府稅雜種稅及同附加稅

府	府稅	大正十四年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十四年	—
計	一四八、二六二	—	—
納稅延人員	二二二、〇七二	—	—
納稅者一人當	三七〇、三三四	—	—
本區人口一人當	四四、五八五	—	—
本區戶數一戶當	八、三〇六	—	—
	三、五六三	—	—
	一九、八七六	—	—

大正十四年

大正十三年

府	府稅	大正十三年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十三年	—
計	一五五、二二一	—	—
納稅延人員	二八四、三七一	—	—
納稅者一人當	四三九、五八二	—	—
本區人口一人當	四〇、〇二九	—	—
本區戶數一戶當	一〇、九八一	—	—
	四、六〇四	—	—
	二四、九五〇	—	—

特別消費稅

府	府稅	大正十四年	—
府稅都市計劃特別稅	—	—	—
市	市稅	大正十四年	—
計	一一〇、六五三	—	—
	一二〇、六五三	—	—

大正十四年

大正十三年

神社及寺院

神社

稻森神社	村	〔社格〕	〔場所〕	〔社司〕
金刀比羅神社	同		新材木町二二	小針常吉
福徳神社	同		薬研堀町二〇	木村瑞技
小綱稻荷神社	同		瀬戸町二四	森村正俊
松島稻荷神社	同		小綱中町東萬河岸一、二、三號地	服部貞三
日枝神社	官幣大社日枝神社境外攝社		松島町四七	小針常吉
水天宮	無格社		南茅町三三	宮西惟助
千代田神社	同		蠣殻町三ノ三	樋口悌次郎
稻荷神社	無格社		小傳馬上町八	千代田源藏
稻荷神社	同		長濱町五	酒井滿太郎
稻荷神社	同		長濱町二	平田盛胤
白簇稻荷神社	同		新柳町一	同
寶田稻荷神社	同		本銀町一ノ一八	同
			大傳馬町一ノ三一	木村瑞技



寺院

笠間稻荷神社	無格社	〔場所〕	〔社司〕
巴熊稻荷神社	同	久松町三九	柴崎宜和
末廣稻荷神社	同	富澤町二四	山本知次
鳥居稻荷神社	同	蠣殻町二ノ二九	菅谷誠一良
明德稻荷神社	同	三代町一九	朝賀喜一
三社稻荷神社	同	南茅場町五四	宮西惟助
三光稻荷神社	同	坂本町楓河岸二六	蘭廣元
祐稻荷、森稻荷(合祀)	同	長谷川町二二	
稻荷神社	同	本材木町一ノ二四	平田盛胤
稻荷神社	同	橘町四ノ八	平田盛胤
池洲稻荷神社	同	箱崎町二丁目河岸	田中荷徳
大橋稻荷神社	同	通旅籠町二二	平田盛胤
寶録稻荷神社	同	濱町三ノ六	木村瑞技
		横山町三ノ五	
大安樂寺	古義真言宗	小傳馬上町二三第二號	香川英良
圓光寺	淨土宗西山禪林寺派	小傳馬上町二二	内藤隆諦
祖師堂	日蓮宗	小傳馬上町二二	志村要麒
了堂	曹洞宗	蠣殻町二ノ二二	梅田貞祐

神道教會並基督教會

日宗教會所	蠣殼町二ノ一五	粟林智宏
日京分教會	龜島町一ノ七一	白鳥まさ
御嶽教竈神祭教會	蠣殼町三ノ八	大久保ウタ
天理教日本橋大教會東日宮宣教所	蠣殼町二ノ一	眞田豐次郎
天理教千代田支教會	濱町二ノ一一	川瀬れん
天理教京中宣教所	北島町二ノ三六	吉岡喜十郎
金光教久松町教會所	久松町三七	田中豐三郎
金光教日本橋教會所	本石町二ノ一〇	松井長作
眞宗說教所	橋町一ノ一一	成田惠門
日本基督兩國教會	矢ノ倉町一	小林誠
御嶽教春之日教會	矢ノ倉町一四	小野力太郎

教 育

市立幼稚園

日本橋第一幼稚園	蠣殼町一一	保姆三	幼兒一〇〇	田中小市
日本橋東城幼稚園	數寄屋町一七	同三	同四六	溝淵貞重
常盤尋常小學校附屬幼稚園	本石町一七	同三	一〇八	齋藤金造
坂本尋常小學校附屬幼稚園	坂本町四〇	同三	九五	柳澤慶三郎

私立幼稚園

養德幼稚園	濱町一ノ二	保姆三	幼兒八〇	相賀たか
成志幼稚園	濱町二ノ二二	同二	五四	由良せき

市立小學校

常盤尋常小學校	本石町一七	教員二〇	兒童七八五	齋藤金造
十思尋常小學校	小傳馬上町三二	同一五	同六八四	本吉小三郎
東華尋常小學校	蠣殼町一ノ一	同一九	同九二二	田中小市
有馬尋常小學校	蠣殼町三ノ一二	同一五	同六五六	川崎彌惣治

區役所沿革

明治十一年十一月岩代町一番地（舊十四小區扱所）に開廳せしものが、本區廳所の創始である。
 翌十二年蠣殻町二丁目十四番地に轉じ、十四年七月坂本町四十番地に移り、翌年五月更に蠣殻町二丁目二番地に轉じ、二十三年八月中洲町に移轉、二十五年一月現在の地（蠣殻町二丁目二番地）に移轉した。
 廳舎は二階建て敷地坪數五百六十七坪四合五勺である。新築來二十有餘年を閱したる大正四年、事務の輻輳と、狹隘を感じ又建物は腐朽の箇所あり危険なる爲、全部の改築を計劃し市會は大正四、五兩年の豫算六萬一千八百圓可決、大正六年四月竣成したが其の工費七萬四千圓餘を要した。然るに彼の大正十二年九月一日の大震のため焼失し、現今再築工事中である。

帝國在郷軍人會日本橋區分會

- | | | |
|-----|-----------|-------------------------|
| 分會長 | 仲 萬 次 郎 | 本銀四ノ一五（日三八二〇、三八二二、三八二七） |
| 同副長 | 宮 本 丑 松 | 蠣殻二ノ一（茅二三三九） |
| 同 | 前川 万 治 郎 | 富澤一九（浪八四八、四五七一。小石川一二七八） |
| 同 | 松 本 藏 之 介 | 小網二ノ三（茅三九二） |
| 顧問 | 田 村 瑞 穂 | 日本橋區長 |

- | | | |
|------|-----------|---------------------|
| 參 與 | 林 九 兵 衛 | 室二ノ一二（日九七八、九七九） |
| 同 | 大倉 德 三 郎 | 小傳馬三西綠河岸一〇（浪五九八五） |
| 同 | 岡 喜 市 郎 | 本三ノ一一（日一七二三、一七二四） |
| 同 | 宮 崎 新 三 郎 | 横山二ノ一 |
| 同 | 岡 本 保 之 助 | 龜島一ノ一（浪一〇八〇） |
| 同 | 島 村 万 三 | 新和泉二（浪二二五六） |
| 同 | 入 山 秀 雄 | 新右衛門町五（日二四五二） |
| 同 | 石 井 魁 助 | 樽正一（日二五三五） |
| 同 | 大野 角 次 郎 | 鐵砲八（浪三二五） |
| 名譽理事 | 竹 内 庄 吉 | 長濱三 |
| 同 | 小 菅 金 之 助 | 十軒店四 |
| 同 | 飯 山 伊 助 | 堀江一ノ六 |
| 同 | 大 矢 忠 藏 | 小舟二ノ二〇 |
| 同 | 上 野 正 太 郎 | 大傳馬二ノ九 |
| 同 | 長 塚 常 太 郎 | 蠣殻一ノ四 |
| 同 | 加 藤 彌 三 郎 | 龜島二ノ一一 |
| 同 | 荒 澤 平 兵 衛 | 三代町二 |
| 同 | 井 戸 武 次 郎 | 北島町一ノ三六 |
| 同 | 荻 野 保 太 郎 | 北島町二ノ九 |
| 同 | 梅 原 吉 太 郎 | 伊勢町米河岸二〇（京七七八九）濱野呼出 |
| 常務理事 | | |

理事	山口 光治	本銀一ノ六
常務理事	平林 時助	新材木一三(浪二七三八)
理事	福原 徳松	新和泉二(浪二七八〇)
監事	小田 彦三郎	小傳馬二ノ二(浪一四六九)
常務理事	村上 與市	蠣殻二ノ一五(浪三一八五)
理事	村山 孝吉	箱崎二ノ六(茅一六三八)
常務理事	田中 梅治	若松二一(牛一五三)
理事	新貝 義雄	濱二ノ一四
常務理事	高島 健一郎	濱三ノ六(浪七二六二)
理事	田村 彦三郎	濱二ノ二二
監事	大瀬 貴明	濱三ノ六(浪一〇五八)
常務理事	川上 定雪	新衛門六(日四五七七)
理事	芳野 金太郎	通二ノ二(日二七八四、二七八五)
常務理事	石川 恒次	龜島一ノ三八(茅五四四大塚方)
理事	鈴木 次郎	南茅四四(茅一四八八)
第一部長	大西 菊太郎	本小田原六(日三七六九)
同 副 長	梅原 兵象	安針六
同 副 長	服部 福太郎	本銀一ノ一七
第二部長	中島 健次郎	新和泉六(浪七九六)
同 副 部長	大辻 安吉	彌生五

同	中里 晴一郎	鐵砲町一
第三部長	中村 倉吉	小網二ノ一(茅九六二)
同 副 長	矢澤 誠一	蠣殻町一ノ三
同	鈴木 九十郎	蠣殻町二ノ一
第四部長	佐久間 延三郎	元柳三〇(浪九三三)
同 副 部長	川邊 保太郎	横山町二ノ一〇
同	清水 藤三郎	馬喰町二 四
第五部長	岡 祥吉	濱三ノ三(浪三八四五)
同 副 部長	杉浦 金四郎	濱町三ノ五
同	山本 酉二	濱町一ノ三
第六部長	太田 金太郎	上横四
同 副 部長	川崎 清司	通一ノ六(日一九六八)
同	山田 嘉太郎	西河岸町六
第七部長	富岡 春太郎	龜島一ノ二六(茅一〇七七) 大野呼出
同 副 部長	小宮 佐吉	龜島二ノ二四
同	芝崎 政尊	龜島二ノ二八

日本橋區海兵團

設立目的

昭和二年五月二十七日
精神修養、海事思想普及

團長	石福嘉兵衛	蒲鉾商
副團長	松野富藏	店員
理事	生長銀次郎	金物商
理事	名和實	
委員	佐藤幾三郎	
委員	小林淺吉	
委員	岩崎敬二	
委員	野中幸三郎	
委員	關口文次郎	
委員	小甲寅吉	
委員	河內策一	
委員	七里成男	
委員	寺島貞吉	

日本橋區青年團

村 上 朋 雄	細 野 藤 吉	林 孫 次 右 衛 門	小 熊 與 四 郎	加 藤 芹 三 郎	重 森 長 太 郎	高 橋 仁 太 郎	海 渡 義 一	高 井 勝 太 郎	富 藤 孝 一	高 橋 健 三 郎	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
---------	---------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	-----------	---------	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〔團名〕

〔事務所所在地〕

〔電 話〕

〔團長〕

常 十 東 有

盤 思 華 馬

本兩替町一常盤小學校內
小傳馬上町二十思小學校內
蠣殼町三ノ一一東華小學校內
有馬小學校內

日本橋一九一〇
浪花 七〇〇九
浪花 五五
浪花 四〇〇二

齋 藤 金 造
本 吉 小 三 郎
田 中 小 市
川 崎 彌 惣 治

箱崎	箱崎町四ノ一箱崎小學校内	茅場	五九	泉常五郎
千代田	矢ノ倉町一五千代田小學校内	浪花	四二八二	武見五作
久松	久松町四二久松小學校内	浪花	二九四九	橋本熊太郎
濱町	濱町三ノ五濱町小學校内	浪花	四四一六	石田耕一
城東	江戸橋二ノ五城東小學校内	日本橋	二五五〇	田代勝之助
坂本	坂本町四一坂本小學校内	茅場	四四四	朝倉茂
日高	蠣殻町三ノ一日本橋高等小學校内	浪花	四〇〇一	中山國六
東京織物同業組合	富澤町一五川崎第百銀行支店內	浪花	一三〇五、二〇九〇	西澤善七
中洲	中洲町一八	浪花	一〇一〇	平井榮次郎
藥研堀	藥研堀町一九	浪花	四三七(太田)	西崎定吉
橋島	橋島町一八(大草一雄方)	浪花(森)	三三三、二五一	中村文次郎
龜井	龜井町四	浪花	二二四五	青山有一
箱崎町四丁目	箱崎町四ノ一	浪花	六二七四、六三八二、六三八三	吉野隆三郎
南茅場	南茅場町三八	茅場	一五八九	渡部重知
矢ノ倉	矢ノ倉町八	浪花	四六六、四六二	遠藤善次郎
蠣殻	蠣殻町三ノ一二	浪花	五二七〇	野波兼次郎
若松	若松町一	浪花	五一八、五一九	林吉五郎
蠣殻	蠣殻町一ノ四	茅場	二六六一	米律公太郎
岩代	岩代町一	浪花	一七五、一九八一	小山庄次郎
				中島照市

日本橋區女子修養會

會長	日本橋區長	田村瑞穂	
分會長	女子高等小學校長	青木吉郎	
〔分會名〕	〔事務所所在地〕	〔電話〕	〔分會長氏名〕
常盤女子修養會分會	日本橋區本兩替町一常盤小學校内	日本橋一九一〇	齋藤金造
十思女子修養會分會	同區小傳馬町二十思小學校内	浪花七〇〇九	本吉小三郎
東華女子修養會分會	同區蠣殻町三ノ一一東華小學校内	浪花五五	田中小子
有馬女子修養會分會	同 有馬小學校内	浪花四〇〇二	川崎彌惣治
箱崎女子修養會分會	同區箱崎町四ノ一箱崎小學校内	茅場五九	泉常五郎
千代田女子修養會分會	同區矢ノ倉町一五千代田小學校内	浪花四二八二	武見五作
久松女子修養會分會	同區久松町四二久松小學校内	浪花二九四九	橋本熊太郎
濱町女子修養會分會	同區濱町三ノ五濱町小學校内	浪花四四一六	石田耕一
城東女子修養會分會	同區江戸橋二ノ五城東小學校内	日本橋二五五〇	田代勝之助
坂本女子修養會分會	同區坂本町四一坂本小學校内	茅場四四四	朝倉茂
楓川女子修養會分會	同區坂本四〇日本橋女子高等小學校内	茅場五七	青木吉郎

日本橋區名譽職待遇者

〔住所〕	〔電話〕	〔氏名〕
蠣殻町三ノ二	浪花 九四七	三宅 猶之丞
通三ノ六ノ二	日本橋 一二六	堀津 長右衛門
本船町一	京橋 四五七、五二八六	佐久間 藤吉
蠣殻町三ノ一二	浪花 四一七二	秋山 朗
新材木町七	浪花 一七	中島 伊平
久松町四七	浪花 二八七六	池谷 豊吉
市外上駒込三	浪花 四三	小倉 久兵衛
濱町二ノ一四	日本橋 五七一、一九三一	星野 錫
本銀町四ノ九	高輪 六九五	高木 益太郎
市外大崎町下大崎八九	茅場町二四五六	稻延 利兵衛
蠣殻町二ノ一	九段 四二一、四三二	近藤 達兒
麴町區上番町四三	浪花 九七五〇	大橋 新太郎
橋町一ノ六	浪花 三八一	安田 源藏
通鹽町九	茅場町 自三五〇一、至三五〇六	澁谷 正吉
龜島河岸三三		森岡 平右衛門

市外巢鴨町宮中二〇六〇	大塚 九三六	田村 貞馬
小石川區關口臺町七〇	浪花 一一一	渡邊 對三
馬喰町四ノ一九	浪花 一七六、一一五二、六八三、二七四〇	須原 大助
新乗物町一五	浪花 六二一五、六二二六	白石 甚兵衛
小傳馬町上町一六	小石川 三七八五	秋田 直吉
小石川區水道町四〇	日本橋 二五三五	大内 重兵衛
江戸橋三ノ二ノ二	日本橋 自一三九一至一三九五	石井 彦治
本銀町四ノ二一	大塚 一四三七	河合 佐兵衛
富澤町二八	浪花 四八〇、四八一	前田 兼七
小傳馬町三ノ一四	日本橋 七二七	加藤 悌次
本銀町三ノ五	茅場町四二九、一三八四	兼子 歎治郎
北新堀町三	浪花 七〇五	遠山 市郎兵衛
元大阪町八	日本橋 六二、六三、三六三六	高木 與兵衛
通三ノ八ノ一	浪花 二八〇四	津村 重舍
新材木町一	青山 一八六七	西澤 善七
小網町一ノ七	浪花 七八四、一三三三、三九四八	中村 茂八
久松町二七	牛込 二六六二	植山 博臣
大傳馬町二ノ一五	浪花 一五六七	新田 儀四郎
京橋區南小田原町一ノ二一	日本橋 二一〇七九	坪野 房治
通二ノ二ノ六	日本橋 自一一六一至一一六四	柳田 諒三

日本橋區役所・課長・技師

區長

荏原郡駒澤町上馬七三六（電話世田ヶ谷二六一）

田村 瑞穂

庶務課長

本所區向島中ノ郷町三三

松下 泰介

會計課長

豐多摩郡杉並町天沼七〇

小池 三平

衛生道路課長

北豐島郡瀧野川町大字中里三九六

勝見 律

稅務課長

豐多摩郡淀橋町大字角管二八六

岡村 徳治

戶籍課長

牛込區筑土八幡町三八

石川 信雄

衛生技師

豐多摩郡高井戸町中高井戸九二ノ八

山崎 祐久

建築技師

赤坂區丹後町五六

本田 保次郎

日本橋區

町會一覽

役員

會長

幹事

會計幹事

同

同

委員(一之部)

同

同

同

同

委員(二之部)

同

同

同

委員(三之部)

同

同

同

委員(四之部)

同

同

委員(五之部)

同

同

同

同

顧問

顧問

西 彦次郎

田 川 武

松本儀三郎

藤沼喜三郎

立原萬太郎

根岸覺太郎

片山彦太郎

杉山賢次郎

山田吉藏

川口與三衛

小傳馬町二丁目町會

設立 大正十三年五月二十八日

目的 自治の本旨に基き町内の平和親睦を圖るを目的とす

歴史 衛生組合(約十二ヶ年)を大正十三年五月二十八日

町會に變更す

役員

町會長

副會長

桑原七兵衛
府川常吉

幹事

同

同

同

同

同

同

同

顧問

委員

同

同

同

同

同

同

同

設立 大正十四年

役員

總代

岡本市太郎

伊丹善藏

玉川喜一郎

澤泉長次郎

柴田定吉

大場定吉

箱屋町町會

設立 大正十五年

目的 本會は相互の親睦を圖り且火災豫防公衆衛生等を旨

とし専ら當町の安寧秩序を維持し且繁榮を計るを目的と

役員

會長

副會長

委員

委員

高橋卯之助

泉田鑄吉

中村兼吉

本町三丁目町會

役員

會長

委員

會計

松本市右衛門

松本福松

岡常吉

島原吉兵衛

青物町町會

役員

會長 同
副會長 同
理事 同
評議員 同
書記 同

吉田久庵
吉田芳太郎
伊藤喜右衛門
岩崎丈太郎
中西友太郎
磯鶴吉
大川伊三郎
中島善兵衛
會田瀧兵衛
岡田利吉
細田房吉
吉田金吉
岡本武次
安藤忠廣

設立 大正十四年

箱崎町二丁目南部町會

役員

會長 同
副會長 同
委員 同

小島吉平
大藤義雄
二宮要也
上田德太郎
石井市太郎
三村敏男
坂口榮次郎
飯田元四郎
安藤辰五郎
野中才次郎
大竹章勝

米澤町二丁目町會

設立 大正十五年七月

役員

會長 同
副會長 同
幹事 同

七條佐市郎
渡邊大助
長岡岩吉
三田重三
野町龜造
野村深太郎
高木喜助
坂卷鶴太郎
中村金藏

會計

組長一ノ組
同二ノ組
同三ノ組
同四ノ組
顧問相談役
法律
一般
同

高木與八郎
石井鑑二
高木與八郎
村田好之助
吉田惣次郎
岡本宏
岩崎彌五郎
土屋忠太郎

藥研堀町町會

設立 明治四十三年

役員

會長 同
副會長兼衛生部長 同
祭典部長 同
兵事部長 同
區劃整理部長 同

佐藤
伊藤勳
坂本錦五郎
吉田惣次郎
土田外吉

通一丁目隣友會

設立 明治三十六年

目的 町内の發展を圖るを以て目的とす

役員

會長 同
評議員 同

石田兼吉
岡本鎗之助
鈴木鐵次
小串勝治

大傳馬町二丁目有信會

設立 明治三十一年一月
 目的 町内の平和を保ち相互の親睦を厚し藥害を矯正し共同福利を増進するにあり

- 役員
- 會長 鈴木幸三郎
 - 副會長 上野正大郎
 - 幹事 萩原喜三郎
 - 同 小峯洋紙店
 - 同 岩崎合名會社
 - 同 内田作藏
 - 同 大沼辰之助
 - 協議員 石倉合名會社
 - 同 西川常八
 - 同 長島彌四郎

瀨戶物町町會

設立 明治二十五年
 目的 町内住居者の親睦、福利、及諸般の便益を計り慶弔の禮を厚くし相互の進展を期す

- 役員
- 會長 黒田市之助
 - 副會長 馬場幸七
 - 委員 高津六平
 - 同 柴田二郎
 - 同 玉置金八
 - 同 高津伊之助
 - 同 佐藤三吉
 - 同 川崎惣藏
 - 同 加藤與市
 - 同 山本重藏
 - 同 工藤源兵衛
 - 同 小島勘兵衛
 - 同 山崎貞五郎

堀江町二丁目町會

設立 大正十四年一月
 目的 會員相互の親睦と福利の増進
 歴史 日清戦役の當時親睦團體として堀江町二丁目睦會成立、明治四十年頃衛生組合創立し當町會の前身となる

- 役員
- 幹事長兼會計主任 服部吉兵衛
 - 幹事 村川惣右衛門
 - 同 田川林藏
 - 同 加藤忠達
 - 同 高野郷一
 - 同 柴垣悦三郎

理事
 同 堀田利三郎
 同 山中泰

濱町中部町會

設立 昭和二年六月五日（舊明治三十三年四月創立）
 目的 町内自治の基礎となす

- 役員
- 委員長 山野好恭
 - 町會長 山野好恭
 - 副會長 木村守
 - 目下役員未定

濱町二丁目町會

設立 明治三十七年九月
 目的 自治、衛生、親睦

- 役員
- 親會長 野村兼吉
 - 同副會長 齋藤豊治郎

南茅場町町會

- 役員
- 町會長 岡本保之助
 - 副會長 大西榮三郎

役員重任年月 二ヶ年

堀江町一丁目町會

設立 大正十三年再設(舊名親交會明治三十五年設立)
目的 全町内員親和、衛生及共存共營に關する自治施行

役員

委員

和	田直兵衛
同	吉田直吉
同	伊藤忠亮
同	齋藤辨之助
同	平井銀治郎
同	飯山伊助

役員全部設立當時より重任 年限二ヶ年

橘町四丁目町會

事業 町會の祭典祝賀等に關する事項
獎兵、防火、夜警、會員の慶弔に關する事項
官公廳の布達周知傳達の事項

役員	會長	中村五郎
同	副會長	富田茂三
同	理事	高森末三郎
同		堀内藤七
同		杉田清吉
同		池田秀次郎
同		市村信三
同		轉若雄
同		小川昭治
同		桐羽文平
同		久保義夫
同		本間信太郎
同		小倉善右衛門

其他町内協力して爲すべき事項
役員 會長一名、副會長一名、會計主任一名、委員五名、
書記一名

蠣殻町二丁目自協會町會

目的 町内親和、相互扶助

蠣殻町三丁目町會

役員
理事長

同	千田慶助
同	渡邊彦三郎
同	杖崎勝三郎
同	飯塚徳造
同	笹田十藏
同	野口丑松
同	坂上睜夫
同	久保久
同	杉山久太郎
同	梅澤淺吉
同	原豊彦
同	加藤精一郎
同	加島鍬之助
同	平木寛三

蠣殻町二丁目共和會町會

設立 大正九年十月

目的 自治

役員

會長	若林悦次
副會長	加納又一
幹事	岩井辨太郎
	石橋和一
	田山寅吉
	谷口友三郎
	近藤林藏
	宮本丑松
	鈴木岡三郎

幹事 鈴木九十郎
會計 酒井幸吉
外評議員 二十名

佐内町町會

設立 明治三十七年府令にて衛生組合設置、大正十四年四

月町會組織

目的 會員相互の意志疎通を計り親睦和合を爲す。自治團
結を鞏固にし會員相互の福利増進を計ること

役員 本會に會長一名幹事四名を設く。役員の任期は滿二
ケ年とす

小網町三丁目町會

目的 會員相互の協和と親睦を計り福利を増進し自治の發
達を助長し共存共榮の實を擧ぐるを以つて目的とす

役員 會長一名 副會長一名 理事十名

理事は互選に依り左記係りを二名つゞ定む

庶務係、衛生係、視察葬禮係、兵事自警係、會計係

役員は未定

濱町三丁目町會

目的 町内の親睦と健全なる自治の發達を期し保安衛生の
向上改善を圖るを目的とす

役員

町會長

副會長(兼會計)

同

【衛生部】

部長

副部長(兼會計)

同

同

【祭典部】

部長

副部長(兼會計)

同

【夜警部】

櫻井鹿造
庄野又兵衛
安田利兵衛
高尾良輔
和城一作
久保長雄
鈴木武飛虎
大屋初太郎
河合和一郎
平尾綾太郎

部長 廣田米吉

副部長 風間利三

同

村松萬六

【兵事部】

部長

堀部治三郎

副部長(兼會計)

小林惣五郎

同

西堀宗八

顧問

加藤石松

幹事

伊東宅平

同

他田久楠

同

石井十一郎

同

羽田野新治郎

同

濱野金輔

同

西田長太郎

同

別府菊藏

同

大竹彦三

同

柏木寛

同

加藤芳之助

同

加藤肆郎

同

高橋仁作

幹事

田中半四郎

同

竹内音助

同

上島善吉

同

宇井清藏

同

内野秀藏

同

野波彌助

同

松本長二郎

同

増田富太郎

同

福島貞男

同

藤川幸三郎

同

小林多吉

同

小金源平

同

酒井榮三郎

同

木野久三郎

同

樋口春吉

同

平川運次

同

門田辰五郎

同

森田半兵衛

佐内町町會

設立 大正十四年
目的 町内の懇親

役員
町會長
委員

富永吉右衛門
小泉嘉六
伊藤千間三郎
並木儀兵衛

委員

小林仙之助
堀田榮三郎

村松町町會

設立 大正十三年

目的 會員相互の親睦を計り相互の利益を保護増進し自治の振興を以て目的とす

歴史 大正九年の頃松和會と稱し大正十三年より村松町々會と稱するに至る衛生事業に就いては常に他町に率先して事を成すを以て名あり

役員

會長

副會長

常務幹事

同 同 同 同
會計幹事

竹内薫兵

大野芳次郎

伊東美代松

加治初雄

長谷川徳松

行木宗七

南雲金七

田中作兵衛

會計幹事

馬喰町一丁目町會

役員

町會長

副會長

會計

幹事

同 同

伊藤政吉

倉持長吉

大野菊三

石村庄左衛門

平尾賛平

青木常作

小田保申

鶴岡愛次郎

天野由三郎

依田忠次郎

松本元次郎

鈴木國藏

小島吉藏

關口由藏

青木孝次郎

小網町二丁目町會

設立 大正十三年

目的 本會は會員相互の協和と親睦を計り福利を増進し自治の發達を助長し共存共榮の實を擧ぐるを以て目的とす

役員

會長

副會長庶務兵事

會計

庶務兵事

祝葬掛

同

衛生

自警掛

同

衛生

相談役

中田治三郎

中村倉吉

秋山幸三郎

田中一兵

石倉儀一郎

高木新兵衛

本田靜藏

高橋徳太郎

永田福次郎

伊東専次郎

島田新助

馬喰町四丁目町會

目的 町内の振興

役員

會長

副會長

同兼衛生部

【衛生部】

常務幹事

同

【會計部】

常務幹事

同

【保安部】

常務幹事

同

【式典部】

常務幹事

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

岡戸竹次郎

中島友吉

山口幸次郎

福本福太郎

中村軍司

鈴木角治

小日向傳次郎

小口喜久三

矢野庄次郎

下村傳次郎

松澤貞次郎

藤倉佐太郎

堀江連一

元島嘉平次

須原大助

宮本庄七

淡島嘉兵衛

小傳馬町三丁目町會

設立 大正十二年一月

目的 會員相互の親睦を圖り衛生、兵事、自警其他の町政を行ふ

歴史 明治三十年正陸會を創立し大正十二年町會に組織を改め今日に至る

役員

町會長

副會長

同

同

同

同

同

同

同

顧問

河村慶治郎

松山國三郎

宮本福藏

高坂與太郎

杉浦卯之吉

大竹茂吉

吉川利三郎

野口太助

大山庄兵衛

加藤悌治

堀留町一丁目町會

設立 大正十三年六月

目的 町會員各自親善、衛生、其ノ他役員 全町々會員六名付全部役員總の事項は全役員參集の上結す

代表者

相談役

役員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

會長

一木彌三郎

松本喜三郎

服部紙店

稻畑商店

和田直兵衛

菅原雅土

濱三東部町會

設立 大正十年三月

目的 町内の平和親睦、保健、衛生防火、自治の向上發展

役員

會長

鈴木文次郎

副會長	神谷音次郎	役員	り併せて其懇親を結ぶを以て目的	荒居庄三郎
會計	清水久太郎	會長		久米資
幹事	山口岩藏	副會長		大熊丑之助
同	杉山助五郎	會計		細田商店
同	佐藤信治	委員		澤井藤助
同	山本與惣吉	同		樋口商店
同	近藤萬吉	同		青木五兵衛
同	伊藤富三郎	同		川崎商店
同	中川淺吉	同		薩摩商店
同	高島米藏	同		市田商店
同	下島久太郎	同		
同	飯田清八	同		
相談役	鈴木友次郎	同		
顧問	加藤悌次	同		
書記	水谷長四郎	同		

田所町町會

設立 大正十三年
 目的 自治の精神に基き日本橋區田所町在住者の公益を計

鐵砲町町會

設立 明治三十年
 目的 町會員の親睦を計り衛生祭祝弔慰防火等協力

役員
 町會長 野崎榮藏
 副會長 小澤鏡二

幹事	渡邊直次郎	理事(會計)	宮下學
同	津久井次郎	同	藤井喜平太
同	市橋與太郎	評議員	堂本仁作
同	榊原福太郎	同	安川昇
同	豐吉勗	同	高橋作五郎
同	甘瀬七藏	同	
同	内村久次郎	同	
同	石河信次郎	同	
同	立入金三郎	同	
同	伊東榮次郎	同	
同	六盟館	同	

小傳馬上町町會

設立 大正八年初春
 目的 町内自治衛生親睦

箱崎町東部町會

役員
 會長 土屋金次郎
 副會長 鈴木偉三郎
 理事(衛生) 川原林兼清
 同(庶務) 一木彌太郎
 同 鈴木順作

現町會長 秋田直吉
 同 秋庭伊兵衛
 同 熊取谷富藏
 同 家田藤次郎
 同 尾崎定治
 同 川島廣吉
 同 林音吉

其他 幹事 二十名
 當町會は古く明治初年より前々會長竹内喜三郎氏より睦



會と云ふ名狀に依り町内の親睦を圖り前後五十年に至りしを前會長秋田直吉氏其れを引續其名を町會と改め小傳馬上町々會と成し自ら會長に就任され其後大正十三年秋田氏は區會議員商工會議所議員となり多忙の爲町會長を辭職され其後家田藤次郎氏が就職され今に及んだのである

蠣殻町二丁目町會

設立 大正十一年八月
目的 衛生、夜警、隣保親善に關する自治的協力
役員
會長 中村五郎
副會長 富田茂三
外理事 十二名

理事 影山七太郎
同 山本平兵衛

堀江四會町町會

設立 大正十四年二月會則を確立し堀江四會と稱するに至る
目的 町内親善繁榮、祭事、慶事、弔事、衛生其他町内に關する便宜を計るを以てす
役員
會長 三田義一
副會長 八木商店
委員 清水忠藏
同 加藤鐵彌
同 西川三郎

金吹町町會

設立 大正十四年四月二十日
役員
會長 太田儀之助

堀留町三丁目町會

設立 大正十四年二月
目的 公事一般、祭事、衛生、慶事、弔事

歴史 明治三十三年衛生組合組織、大正十四年衛生組合を解散現町會を創立す

役員
會長 澤京治郎
副會長 伊藤豊明
會計 川端捨二郎
委員 久保田松之助
同 犬井篤
同 吉田梅次郎
同 榎本金次郎
同 建石伊三郎

理事 黒須春之助
同 西村甲子光
同 河村信之
同 山内嘉平
同 山田福松
同 林勝昌
同 西山新之助

大傳馬鹽町町會

設立 大正十三年四月
目的 自治の精神に基き町内の平和親睦を計り諸般の施設を成す

箱崎町四丁目町會

目的 町内親睦、自治の基
役員
町會長 鳥羽登喜夫
副會長 伊藤匡二
理事 福本富次郎

歴史 二十數年以前より衛生組合を組織せしが、町内諸般の事業を統一する爲大正十二年解散、現町會を設立せり

役員
會長 佐藤得齋
副會長 宮下大五郎
幹事 關根安次郎
同 石山靜雄

幹事 吉田福三郎
 同 中尾金太郎
 同 吉田平助
 同 荒井斧
 同 谷澤光吉
 同 泰由藏
 同 大村吉次

小網仲町町會

設立 大正十四年二月

歴史 從來小網稻荷神社の氏子豊田平八、森友徳兵衛兩氏が居附地主として町内の代表であり又自治を計つて來たが規約を改め組織を變更して現町會となす

日清製粉會社

小網町一丁目町會

設立 大正十三年三月

目的 會員の親睦、衛生保健の事務、町の發展に關する件

役員
 會長 中村茂八
 副會長 館野榮吉
 顧問 吉田孝之助
 委員長 山本七郎兵衛
 委員 龜山久太郎
 同 金久保榮次郎
 同 門倉商店

役員
 町會長 川口惣藏
 副會長 吉川百太夫

委員 木下七左衛門

同 小鹽安七

同 前田福松

吳服町町會

設立 明治三十八年

目的 町内の安全、衛生其他一般公共事業

歴史 日露戰役の戰死者葬送に始る

役員

町會長 堀井吳三郎
 副會長 高橋久次郎
 理事 辻幸三郎
 同 小林喜七郎
 同 會根力造
 委員 稻崎新八
 同 川名周次
 同 松浦清三郎
 同 石井彦次郎
 同 玉川彦太郎

委員

川村清左衛門
 中村嘉兵衛
 石綿金次
 戸塚勘三
 山本卯兵衛
 柴田文七
 水野鐵次郎
 河津廣三郎
 松尾俊次郎
 立花押尾
 青木貞治
 三好貞吉

元大阪町町會

設立 大正十三年十一月

目的 會員親睦、福利増進、自治

役員
 會長兼會計 成島菊三
 副會長 高木與兵衛
 理事 中村政五郎

矢ノ倉町町會

設立 大正十三年七月

目的 會員相互の親睦を計り自治の振興と公共の利益を念とし社會百般の施設に盡すを以つて目的とす

役員
 會長兼庶務主任、會計主任 櫻井功

- 會長 町田駒吉
- 副會長 三橋長吉
- 同 山川昇治
- 同 野村豊吉
- 同 水島龜之助
- 同 山本八治
- 衛生主任 鈴木徳七
- 同 佐久間義光
- 同 佐竹健造
- 同 深田徳三郎
- 同 坂井五郎兵衛
- 同 西川ハル
- 同 淺野吉之助
- 同 野波和太郎
- 同 横山久五郎
- 同 寺谷宗三郎

諸氏によつて設けられたが三十七年より衛生組合と稱し町内の衛生親睦を計つて來た更に大正十五年米津、吉田、熊谷の諸氏に依つて現町會に組織を變更した會長を米津松造氏とし他に常務幹事、幹事十名を以て事務を掌つてゐる

北島町二丁目町會

中村維新、荻野保太郎、阪井和吉氏等町内に隣保友愛の機關なきを遺憾とし大正八年有志會を組織し、町民相互の親睦、兵士送迎、冠婚、葬祭等を爲して來たが大正十一年阪井和吉、馬場半三郎その他の諸氏時勢の趨勢に鑑み組織變更を率先し現會名に變更したものである阪井和吉氏會長に就任中

北島町一丁目町會

明治三十二年より衛生組合があつて地區を一丁目に限つて消極的な活動を續けて來たが時代の變遷に従ひ積極的活動を求むる事幾年、遂に大正二年關口、田中、岩佐、福井氏等發起して議を重ね、遂に現町會の結成を見るに至つた

若松町睦會

明治二十七年頃衛生を主とする會が米津松造氏その他の

現會長を岩佐庫藏氏といふ

三代町町會

明治三十二年頃町總代なるものがあつて主として衛生その他公共事業に當つてゐたが三十七年獎兵議會なるもの組織されて前記諸事業を處理した大正五年秋山行藏、木村峰藏その他の諸氏時代の變化に伴ひ進歩主義を執らんとし主唱して現會名に組織を變更した現會長を秋山行藏氏となす

吉川町町會

明治三十四年に三四會が生まれ主として衛生町内の親睦を計つてゐたが四十年に衛生組合が組織され越えて大正十一年時代の進歩に應ぜんとして藤田庄次郎氏その他の努力に依つて現町會と成つたものである現會長を藤田庄次郎氏とし長くその任につかれてゐる

蠣殻町二丁目正文會

大正十三年十二月の設立にかゝるもので明治三十八九年

頃よりあつて衛生組合等親組織の下に改め渡邊平次郎、工藤淺吉、三井正、折本八郎、高木榮左衛門等の諸氏の發起によつて充實されたものである創立以來の會長渡邊平次郎氏の他に役員十名を置く

蠣殻町三ノ十三町會

元、殼三衛生組合が三丁目にあつて公共事業に盡力されて來たが明治四十年分離獨立して殼三の十三衛生組合、並に睦會を設立更に大正十四年町會に更め現會長樫野梅吉氏は十四五年以來の連續重任となる

浪花町町會

明治三十二年頃から睦會、衛生組合等が並立してゐたが大正十四年時勢の進むに従ひ愈々町内の和親共同の必要を悟り茲にこの二つの會を併合現町會の創立を見たものである現會長櫻井六左衛門氏他に委員其他若干名を置く

住吉町町會

日露の役に際し町内の一致團結すべきを感じ、高津卯太郎氏法木徳兵衛氏神谷兼太郎氏其他有志の發起により友誼會を創立前よりあつた衛生會を併合して大正十三年現町會を成立せしめたものである現會長は高津卯太郎氏

事に熱心されつゝある

本銀町二丁目町會

明治三十年頃本銀町二の一二番地の有志に依つて睦會が設けられ相互の親睦福利増進を圖つてゐたが大正十四年役員一同主唱して時勢に應じた新組織に完成せんとして茲に現會名に變更組織を改めたものである

堺町町會

町會の親睦と共榮を目的として明治二十二年開明會が設けられたが後三十年親交會に變更更に大正十三年町會に改め自治公益の爲に盡瘁してゐる現會長は橋本文治郎氏、睦會長岩佐捨藏氏外に委員八名を置く

本銀町一丁目町會

大正五年に同盟會なるものが組織されたが何時となく消滅の形となり再び大正九年睦會が設立されたのを時勢に適應する活動を成さんとして大正大震災は焦土の中より生まれ出たものである隣保事業の機關とし河合半兵衛氏其他數氏の發起にかゝるものである

濱二末廣町町會

昔から橋友會があり衛生組合に變更更に時勢に合致せんとして改革今日の完成を見るに至つた現會長星野錫氏他に理事、委員、衛生顧問等二十數名を有し堂々町會の共同行

室町一丁目親交會

室町一丁目親交會は明治二十七八年戦役の際出征軍人の

送迎を目的として設けられたものであつたが越えて三十九年衛生組合の組織となり大正三年現町會の創立さるゝにより併合されたものであるその間山本徳次郎氏、小山岩次郎氏其他有志の斡旋は大であつた現會長は山本徳次郎氏にして基本財産は頗る多額に上ると。

助、若林武太郎、鈴木信吉、中島吉太郎、佐久間藤吉の諸氏にして現會長は佐久間藤吉氏である

蠣町一ノ四町會衛生組合

古く明治三十九年衛生組合の設置さるゝと共に同時に現

室町二丁目親和會

明治三十二年に創立され衛生組合と言つてゐたがその後大正十五年現町名に變更し町内の相互扶助親睦等を計つて來た會長としては創立者久能木宇兵衛氏を戴き委員數名を置き各自共同一致よくその任に當つてゐる

古く明治三十九年衛生組合の設置さるゝと共に同時に現

松島町町會

もと衛生組合と言つて明治三十九年青山氏他數氏の有志に依つて衛生、夜警、祭祀等を目的として設立されたものでその後大正十二年に至り町民有志等時代の變るに従つてかゝる組織を改革せん事を提議し遂に現町會創立の運びになつた自治共榮の伸張及び擁護等頗る事蹟を擧げてゐる

會長を中津川虎之進氏と言ひ會計龜田勝吉氏が事務を掌裡してゐられる

本船町町會

本船町、魚河岸、米河岸を聯合して相互の親睦を計る爲に設置され衛生消防等の改善や業務を執り震災前までは魚河岸組合で事務を掌つてゐたが魚河岸移轉後本船町と稱し町内行事の全般に亘る團體組織となした創立者は永田亥之

役員

會長
副會長

古山 有一
市村 金助

日本銀行
 銀行
 會
 一

早川ビルブローカー銀行

室町二ノ二
 電話自二三二至三三八
 日本橋二九二五
 振替東京二二三二七

創立 大正七年十一月

資本金 二百五十萬圓
 借用高 二十一億一千七百九十餘萬圓
 同 返済高 二十一億一千五十餘萬圓
 同 年末殘高 二千八百七十四餘萬圓
 貸出高 六億六千一百萬九千餘圓
 同 回收高 六億四千八百八十八萬四千餘圓
 同 年末殘高 三千二百三十二萬五千餘圓
 取組殘高 四千六百餘萬圓
 有價證券賣買取扱高 八千八百八十六萬五千餘圓
 專務取締役 早川芳太郎
 取締役 早川佐七
 取締役 早川億利
 監査役 早川周之助
 同 植村和吉

六十九銀行東京支店

通鹽町一
 電話浪花 八卷・八六・空充
 振替東京 四〇六二五

設立 明治十一年十二月

資本金 一千三十萬圓
 拂込金 六百九十二萬圓
 配當率 年八分
 頭取 長部松三郎
 專務取締役 小畔龜太郎
 同 鷺尾徳之助
 同 近藤勘次郎
 同 遠藤六太郎
 取締役 川上佐次郎
 同 川崎又七
 監査役 山崎又七
 同 高橋友二郎
 同 遠藤清平
 同 淺木兵市
 東京支店支配人

日佛銀行東京支店

吳服町二六
電話日本橋三〇六〇・三〇六一
振替東京三五五六〇

設立 明治四十五年

資本金 二千五百萬法

拂込金 六百五十萬法

配當率 年六分

預金額 五千五百七十七萬九千法

副總裁取締役 小野英二郎

專務取締役 與田作造

取締役 締 巽 孝之丞

同 松本重威

同 瀨下清

資本金 一千九百五十萬圓

拂込金 金額濟

配當率 年六分

積立金 一百二十五萬圓

東京支店長 北島房太郎

日本興業銀行日本橋支店

新右衛門三
電話自一六八〇至一六八二
日本橋

設立 明治三十五年三月

資本金 五千萬圓

拂込金 五千萬圓

配當率 一割

積立金 一千五百五十一萬五千餘圓

總裁 小野英二郎

副總裁 松本重威

理事 松本弘造

同 寶來市松

同 天宅敬吉

同 大場多市

同 岩佐理藏

同 八條隆正

同 相馬確郎

同 澤口良藏

同 大谷岩太郎

同 長谷川直義

同 齋藤丈雄

同 久保兵太郎

同 小熊幸一郎

同 石館友作

同 渡邊孝平

同 大刀川善吉

同 金澤彦作

同 山崎松藏

日本晝夜銀行日本橋支店

彌敷町一ノ三
電話茅場町一五八五

安田經營(營業時朝九時ヨリ夜八時マデ土曜日ハ正午迄)

資本金 一千萬圓

頭 取 安田善次郎

取締役頭 取 安田善四郎

取締役兼支配人 榎本平七

北海道銀行

本材木町一ノ二八
電話日本橋一一三一・一一一四
振替東京一一三番

創立 明治二十七年

資本金 七百八十萬圓

諸積立金 百九十一萬圓

預金總額 四千九百三十萬圓

貸出總額 三千三百五十二萬圓

所有諸公債 千四百六十五萬圓

東京貯藏銀行本店

通り一丁目五番地
電話日本橋二・三四・三三・三五
振替東京一八八四〇

頭 取 原 邦 造

設

立 大正九年三月

日本信託銀行東京支店

南茅場町二ノ三
電話茅場町自四五五至四五七
振替東京五六〇九〇

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

常務取締役 本庄忠治
 同 本城郡治郎
 取締役 北岡晴次郎
 同 小倉清男
 同 町田德之助
 常任監査役 奥田操
 監査役 青木鐵太郎
 相談役 原六郎

監査役 茂原虎雄
 同 加輪上勢七

川崎第一百銀行

通リ 一丁目

電話 一四一(8) 三一〇五(5)
日本橋 一四九(9) 三一〇五(5)

東京貯藏銀行通旅籠町支店

通リ 旅籠町 一二
電話 浪花 三三八

資本金 三千三百九十八萬八千五百圓
 積立金及繰越金 五百四十七萬四千餘圓
 諸預金 三億三千三百六十萬八千餘圓

取締役頭取 星埜章

取締役副頭取 關根善作

常務取締役 河合鐵二

同 吉田良三

同 川崎肇

同 原邦造

同 渡邊眞平

常任監査役 高梨博司

監査役 小倉清男

加島銀行東京支店

平松町 一
電話 自三三一至三三四三三六
日本橋

取締役頭取 廣岡惠三

常務取締役 松井萬綠

取締役 廣岡久右衛門

同 下村菊松

川崎第百通旅籠町支店

通リ 旅籠町 一丁目
電話 自二〇三〇至二〇三二
浪花 二二〇六・五七〇三
振替東京一九・三三四・二七〇

臺灣商工銀行東京支店

吳服町 一一一
電話 日本橋五五三・二四七七
振替東京 五〇〇四

川崎第百馬喰町支店

馬喰町 三ノ五
電話 浪花 一八四・二九二一

設立 明治四十三年
 資本金 一千萬圓

頭取取締役 木村匡

常務取締役 山口清

川崎第百富澤町支店

富澤町 五
電話 浪花 七四〇・七四一・九一三
四〇五二・四〇七一

第一銀行本店

兜町 一
電話 一八一(8) 一一二(5)
茅場町二六八〇(3)
振替東京 一

川崎第百日本橋支店

通リ 三ノ八
電話 自三二〇〇至三三〇四
日本橋

創立 明治六年
 資本金 五千七百十萬圓(拂込濟)

諸積立金 六千五百五十五萬圓

預金總額 五億六千六百餘萬圓

貸出總額 三億四千二百萬圓

頭取 佐々木勇之助

川崎貯蓄銀行本店

通リ 三丁目
電話 自一〇三〇至一〇三三
日本橋

副頭取 石井建吾
 常務取締役 松田富
 同 大澤佳郎
 同 明石照男
 取締役 野口彌三
 同 野口弘毅
 同 澁澤敬三
 同 加納友之介
 同 監査役 土岐 債
 同 竹山純平
 同 西園寺 龜次郎
 同 相談役子爵 澁澤 榮一

第一銀行室町支店

室町三共ビルヂング内
 電話 三一〇八・一一〇七
 日本橋 一〇八・一一〇九

第一銀行吳服橋支店

吳服橋一丁目
 電話 自二一六一至二一六四
 日本橋 振替東京 二一三

第一銀行富澤町支店

富澤町 五
 電話浪花 七六・六三・三六

第一銀行堀江町支店

堀江町 一ノ一
 電話浪花 四六五・四六六

田中銀行

坂本町 七
 電話茅場町 四〇五・四〇六

設立 明治十六年十月

資本金 一百五十萬圓

拂込金 一百五十萬圓

積立金 五十五萬八百九十四圓餘

配當率 年八分

取締役頭取 田中平八

取締役 田中銀之助

同 田中虎之輔

總武銀行東京支店

大傳馬町一ノ二三
 電話浪花 一三八八・二八八九
 振替東京 一八四八〇

設立 明治二十九年一月

資本金 二百十萬圓

拂込金 九十七萬三千三百七十五圓

配當率 年八分

積立金 十九萬四十圓

取締役會長 萩原 鐵三

專務取締役 藤井 精

取締役 田邊 卓郎

同 渡邊喜三郎

同 吉田丹次兵衛

同 飯田佐次兵衛

同 岩井重兵衛

同 塚口慶三郎

同 五十嵐 慎一郎

東京支店次長 田山 謹之助

安田銀行小船町支店

小船河岸一二號
 電話 四四二・四五一
 浪花 自一七六一至一七六四

設立 大正十二年五月

資本金 一億五千萬圓

拂込金 九千五百二十五萬圓

配當率 年一割二分

積立金 五千五百八十五萬圓

頭取 安田善次郎

副頭取 結城豐太郎

同 常務取締役 竹内悌三郎

同 兵須 久

同 小船町支店長 和田己之吉

同 副 長 松井貞吉

安田銀行江戸橋支店

本船町 一九
 電話日本橋自五四五至五四七
 振替東京 七七五三

支店長 今井 豐一

副 長 青木 卓二

安田銀行 鎧橋支店

小網町二ノ一四
電話 自八二〇 至八二二
茅場町
振替東京 二四六五

支店長 明樂三吉
副長 安田寛太

安田貯蓄銀行

本町二ノ一
電話 六四七・六四八
日本橋 一九二五・一九二六

取締役頭取 安田善次郎
取締役 安田善四郎
同 安田善彦
同 新井智三郎
同 小河原秀雄
監査役 安田善五郎
支配人大 泉哲

山口銀行 東京支店

本町三ノ二一
電話 一二五一(6) 四〇八〇
日本橋 三九四七
振替東京 二二七三三

資本金 五千萬圓
拂込金 二千九百五十萬圓
配當率 一割

取締役社長 山口吉郎兵衛
東京支店長 森信敬二

不動貯金銀行 日本橋支店

本石町二ノ八
電話 日本橋 一一九一(4)
振替東京 二七四四一

貯金契約高 七億一千七百二萬四千四百五圓
預金總額 三億二千八百八十七萬二千三百十三圓五十二錢
政府供託金 一億九百六十二萬五千五百一圓十一錢
取締役頭取 牧野元次郎

古河銀行

瀬戸物町五
電話 日本橋 自三三二 至三三六
振替東京 三八二三二

設立 大正六年九月
資本金 一千萬圓
拂込金 六百二十五萬圓
積立金 一百六十九萬圓
取締役頭取 男爵 古河虎之助
常務取締役 西條峯三郎
取締役 中川末吉
同 男爵 中島久萬吉
監査役 工學博士 小田川全之
同 畠田文次郎

古河銀行 元濱町支店

元濱町六
電話 浪花 一五一五・六八〇八

武州銀行

新葭町三
電話 浪花 二三四五・六七六七

創立 大正八年一月
資本金 八百二十九萬圓(全額拂込済)
頭取 大川平三郎
常務取締役 永田甚之助
常務取締役 紫田愛藏

神戸岡崎銀行 東京支店

本材木河岸五六號
電話 日本橋 三九三・一〇三〇・一〇三一

資本金 二千萬圓
積立金 六百九十萬圓
取締役頭取 岡崎忠雄
專務取締役 大隅行一
常任監査役 石丸英一
支配人 遠田榊吉
文書課長 池田貞晴

愛知銀行東京支店

元四日市町二三
電話 一二二八
日本橋 一二八四 (宿直用)⁽⁵⁾

資本金 一千五百萬圓
 諸積立金 七百十五萬圓
 諸預り金 一億六千二餘百萬圓
 諸貸出金 一億二百餘萬圓
 所有有價證券 六千四百餘萬圓
 取締役頭取 渡邊 義郎
 取締役 關戸 守彦
 同 吹原 九郎三郎
 同 鈴木 信吉
 同 岡谷 惣助
 同 各務 幸一郎
 同 岡田 良右衛門
 監查役 松平 義爲
 同 伊藤 次郎左衛門
 同 相談役 志村 源太郎

愛知銀行室町支店

室町三ノ八
電話日本橋 三五三・一五三六

愛知銀行堀留支店

堀留町二ノ一
九電話浪花二三三三・三二八八

足利銀行東京支店

通リ油町一
電話浪花 六〇・六一・三三〇七
振替東京 二六〇六二

設立 明治二十八年
 資本金 七百五十二萬圓
 拂込金 五百十五萬圓
 配當率 年九分
 積立金 一百七十五萬圓
 取締役頭取 萩野 万太郎
 東京支店長 小田 部 誠

金原銀行

北 鞆 町 五
電話日本橋 五五・七三・三五・三六
振替東京 七七六九

明治銀行東京支店

長谷川町一七
電話 自四八四〇至四八四三
浪花 振替東京 四七八二五

設立 明治二十九年十二月
 資本金 一千五百萬圓
 拂込金 一千三百萬圓
 配當率 年一割
 積立金 三百五十萬圓
 取締役頭取 生駒 重彦
 取締役 富田 重助
 同 上遠野 富之助
 同 加藤 柰右衛門
 同 神野 金之助

同 糟谷 健右衛門
 同 監查役 齋藤 恒郎
 同 熊澤 一衛
 同 服部 小十郎
 同 支配人 佐藤 須惠治
 東京支店長 喜入 達郎

三井銀行

本革屋町五ノ一
 電話日本橋 一一二二〇一
 同 事務用 一一二二〇九
 同 來客用 四四七七
 同 文書課 四四七三
 同 經理課 四四七三
 同 證券課 四四七七
 同 宿直用 四四七七

資本金 一億圓(拂込濟)
 積立金 五千二百四十萬圓
 法定準備金 二千八百萬圓
 配當準備積立金 九百萬圓

諸預金 四億七千七百五十餘萬圓

取締役社長 三井源右衛門
 常務取締役 池田彬成
 同 菊本直次郎
 同 龜島廣吉
 同 今井利喜三郎
 取締役 米山梅吉
 同 原富太郎
 同 福井菊三郎
 同 男爵 三井高精
 同 山崎吉次郎
 同 見城重平
 同 監査役 大橋新太郎
 同 山元龜光
 同 下田守藏
 同 岸本兼太郎

三井銀行日本橋支店

南茅場町 二二三
 電話 自二三一至二三五
 茅場町

支配長 高木健
 同代理 中岡義隆
 同 木村甚吉

三菱銀行日本橋支店

通リ旅籠町 七
 電話 自一〇四〇至一〇四二
 浪花 一五四八
 振替東京 四五六四八

昭和銀行

金吹町 一
 電話 自二二三三二二
 日本橋 至二二三二九〇

取締役頭取 生田定之
 常務取締役 田島道治
 同 菅野尙志
 同 菅原大太郎
 同 菊本直次郎
 同 瀨下清
 同 大平賢作
 同 加納友之助
 同 渡邊義郎
 同 原邦造
 同 監査役 加納友之助

昭和銀行日本橋支店

室町 一ノ一〇
 電話 日本橋三六八〇・三六八一

十五銀行人形町支店

新乗物町 三
 電話 浪花 自一五〇三至一五〇二
 二四五・三八〇〇

昭和銀行小網町支店

小網町 四ノ四
 電話 茅場町自二一一至二一四

昭和銀行堀留支店

堀留町 二ノ一五
 電話 浪花 自一〇二至一〇四

昭和銀行元濱支店

元濱町 一
 電話 浪花 一六〇七・一六〇八

昭和銀行通鹽町支店

通鹽町 八
 電話 浪花 二六三・一六五・五〇四

創立 明治十年五月

支店 三十五ヶ所

出張所 四十九ヶ所

頭取 西野元

常務取締役 森俊六郎

同 横山昌次郎

取締役 男爵小畑大太郎

同 山中勇

同 鍋倉春彦

監査役 西尾忠方

同 乾長次郎

同 沖雄熊

十五銀行日本橋支店

京橋南傳馬町 二八千代田館内
 電話 自四一二一至四一二四
 京橋

十八銀行東京支店

小傳馬町三ノ二
電話浪花四九五四
電略一八

設立 明治十年
資本金 一千五百萬圓
拂込金 八百六十五萬五千圓
取締役頭取 松田精一
支店長 中島淳二

森銀行

通り二ノ一一 中央ビル内
電話日本橋三三八・二四七二

設立 明治三十二年八月
資本金 五十萬圓
拂込金 二十萬圓
積立金 八萬五千圓
取締役頭取 森平吉
取締役 森和一
同 矢田滿壽雄
同 内山三郎
同 平川山太郎
監査役

日比谷銀行

長谷川町一五
電話
浪花 一三四・一三五・七一〇
二九八・七一九・九三〇
二九八・七一九・九三〇
六〇一七
振替東京四七五六九

設立 明治二十八年
資本金 三百萬圓
拂込金 二百萬圓
配當率 年六分
積立金 六十五萬圓
取締役頭取 日比谷平吉
常務取締役 日比谷祐藏
同 川住義雄
取締役 津田五郎
監査役 柳田榮
同 江波利三郎

住友銀行東京支店

平松町七
電話
日本橋三三三・三三一・三三〇(10)・三三一・四一〇(10)
三三三・三三一・三三〇(10)・三三一・四一〇(10)

資本金 七千萬圓
取締役會長 湯川寛吉
專務取締役 八代則彦
常務取締役 加賀覺次郎
同 大平賢作
取締役男爵 住友吉左衛門
同 堀啓次郎
同 今村幸男
同 國村精一
常任監査役 鈴木謙三郎
監査役 河上謹一
同 植野繁太郎
同 草鹿丁卯次郎
同 吉田眞一

住友銀行通油町支店

通油町一
電話
浪花 一七〇・一七二・二八四・六八五
六〇八八六

第十九銀行東京支店

堀江町二ノ一〇
電話浪花 二九・五八〇・四七五

第二十六銀行東京支店

大傳馬町二ノ一
電話浪花 一二八一

森村銀行

通リ一ノ三
電話日本橋 二二〇一(5)

第四銀行東京支店

南茅場町七
電話
茅場町 一五七二・一五七三
一八三〇・一九三〇

第三銀行

兜町五
電話茅場町 二一五一(7)

茅一七六・一六二七	南茅場町八	上田辰卯	茅二一一・三一八	兜町二東株ビル内株式會社徳田商會
茅三一八・三一八八	坂本町三一	久保田正治	茅五七五	兜町三
茅五一二・五一四	兜町六	近田歳太郎	茅七二八・七一八	江戶橋一ノ二五
日四五九・五四九八	江戶橋一ノ一三	河川忠次郎	茅一〇二九	吉川兵次郎
日九二四・九七七	江戶橋一丁目七ノ六	山中清兵衛	茅三二一・三二一六	江戶橋一ノ一五
日二一〇五・二一〇八	江戶橋一丁目七ノ六	山中清兵衛	日二一一・二一一九	江戶橋一ノ五
茅二二六・二二六八	兜町五	武澤兼三	茅二一〇・二一〇七	兜町三
茅三三三・三三三三	坂本町一九	平井光三郎	茅一七七五・一七七九	小網町二ノ一一
茅三三八・三四八一	坂本町一九	林 莊 治	茅七三六・一六四三	南茅場河岸五
茅三二二・二二二九	南茅場町三	株式會社角丸商會	茅七三八・一六四七	南茅場河岸五
茅三一六・三一六三	兜町五	中央證券株式會社	茅三三九・三三九四	兜町二東株ビル内萩原六三郎
茅三一・二四一八	兜町五	川口關之助	茅二一四・三三五〇	兜町三
茅一六三・一六三二	南茅場河岸一	安藤康次郎	茅一四九・一六二〇	兜町四東株ビル内株式會社山丸商會
茅三二二・三二二五	兜町三	株式會社丸水渡邊商會	茅一七〇・一七〇二	兜町四東株ビル内株式會社山丸商會
茅二二二・二二一九	小網町三ノ三	長尾秀一	茅三〇七・三〇七四	坂本町三七
日三五七	江戶橋一ノ八	吉村 右一	茅七一	株式會社入丸商會
茅一三二・一三二九	兜町二東株ビル内福山友三郎		茅三一四・三二四九	兜町三
茅一五二・一五二七	兜町二東株ビル内綾部金藏		茅一五二・三二五三	山一證券株式會社
茅二六一・二六五	兜町二東株ビル内綾部金藏		茅三四三・三四三六	兜町四

短期取引員氏名

電 話	住 所	氏 名	電 話	住 所	氏 名
日 四七・ 四八	本船町米河岸六	石崎石三	茅二四二・二六七四	兜町二東株ビル内	中森重次郎
日 八九六・三八〇六	江戶橋一ノ七	岩田 隼三	茅二四三・二四三二	坂本町一九	村瀬竹次郎
日 三八〇八	坂本町五	市川義藏	茅一七六六・一七六九	兜町二東株ビル内	久保田 幸三郎
茅二二一・二二一四	江戶橋二兜橋ビル内二	宮 類 治	茅二二七五	兜町三	朽見節次郎
日二七一〇	江戶橋二東株ビル内	星野大三郎	茅三三七・二三七八	兜町三	安澤安之助
茅三四一・三四一七	兜町二東株ビル内	大野藤次郎	日 八一五・ 八一七	江戶橋二丁目一	丸 山 都 治
茅二六七・二六七三	兜町三	大橋 小一	茅三四四・三四四九	兜町五	松島卯三郎
茅二五一・二二三五七	坂本町三九	大野藤次郎	茅三四四・三四四九	兜町五	船橋理三郎
茅三四三九	南茅場町四	渡 邊 豊	茅三四四・三四四九	兜町五	小島 幸 吉
茅二〇六・三〇八一	坂本町一四	小林 光次	茅三四四・三四四九	兜町五	淺野 節 治
茅一四三・一四三二	兜町二東株ビル内	粕谷健一郎	茅 四六〇	兜町三兜町ビル内	荒城誠二郎
茅一四三七	兜町三兜町ビル内	吉川 卯 吉	茅一七六〇	兜町三兜町ビル内	由利 龜 一
茅 六二一・ 六二四	南茅場町四六	田崎次郎作	茅一三八八・一三八九	兜町二東株ビル内	島 安次郎
茅一五四〇・一五四二	小網町二ノ一四	田中亥三郎	日三五八〇・三五八二	江戶橋一丁目七ノ六	平野 長 藏
日 九四八	江戶橋一ノ一五	土屋 銳 太郎	茅二四一・二四一二	兜町二東株ビル内	杉山榮次郎
日三四六〇	江戶橋一丁目内	中島政治郎	茅二五一・二六七八	兜町二東株ビル内	鈴木 整 吉
茅三〇三五・三〇三七	坂本町一八	中澤定治郎	茅三五〇・ 三五一	南茅場町八	今井安太郎
			茅一四二九	兜町二東株ビル内	角 田 勇

茅三〇〇七・三〇〇九	坂本町一八	山田平次郎	茅二七六〇・二七六二	坂本町一三	大久保仙七
茅三四四八・三四四九	兜町五	岩瀬憐	茅一五〇・一五九	兜町四東株内	東株代行株式會社
茅一六八四	兜町二東株ビル〇	中村慶吾	茅一五一・一五六	兜町二東株ビル内	森元貞純
日九八三・一八三三	江戸橋一丁目六	吉田伊太郎	茅三四六三・三四六七	兜町二東株ビル内	森元貞純
茅二四九五・三四四八	兜町五	松崎九一郎	國債取引員氏名		
茅二三八七・三四六四	坂本町一八	黒部福太郎	電	住	氏名
茅三三七七・三三七八	兜町二東株ビル内	足立榮作	京六一二〇・六一二五	京橋區北横町一八	大島三橋
茅三四四八・三四四九	兜町五	本多一郎	藤本ビル	早川芳太郎	銀行内
茅三四七二	坂本町四	岩岡嶮	丸一〇二一・一〇二五	麴町區永樂町一ノ二	小平三郎
茅六七一・六七五	小網町二ノ二	武藤春治	日三二二一・三二二八	日本橋區室町二ノ二	早川芳太郎
茅三四四五・三四四六	南茅場町八	眞保眞二	茅二二六一・二二六八	丸之内一〇八	日本興業銀行内
茅二二二〇・二二〇九	坂本町六一	新井諏訪太郎	丸四五五・四五七	日本信託銀行内	大原直次郎
茅一〇六三・一五七〇	兜町二東株ビル内	秋元新助	丸二五一・二五九	丸之内一〇八	天宅敬吉
茅一五七一	坂本町一九	鈴木庄八	丸二六一・二六四	日本興業銀行内	尾昭
茅五五〇・五五三	兜町二東株ビル内	武田次二	茅三四一八・三四一九	日本橋區通二丁目一	尾昭
茅一八二・二六二九	兜町二東株ビル内	武田次二		日本橋區通二丁目一	尾昭

株式會社東京米穀商

取引所第一取引員

開業年月	人	名	同	六年九月	鈴木文一郎
明治卅六年三月	田村市三郎	同	大正六年十月	清水春吉	
同 卅四年四月	角谷貞之助	同	同 六年十一月	各務重一	
同 卅六年三月	澤田米藏	同	同 七年十月	久富楠太郎	
同 卅六年六月	有松尚龍	同	同 八年一月	杉山房次郎	
同 卅九年六月	高久彦一郎	同	同 八年二月	平原重吉	
同 卅九年四月	坂上平次郎	同	同 八年五月	尾澤豐作	
同 同	越賀長之助	同	同 八年九月	寺田伊平次	
同 四十一年八月	增井寅之助	同	同 八年十月	赤津龜治郎	
同 四十三年三月	相馬榮治	同	同 九年四月	大塚藏之助	
同 四十四年八月	林松次郎	同	同 十年七月	大平喜代松	
大正二年二月	高垣甚之助	同	同 十年九月	稻積豐次郎	
同 四年十月	扇子政次郎	同	同 十年十月	關根春吉	
同 五年一月	鈴木三樹之助	同	同 十一年四月	相原梅吉	
同 六年三月	進藤喜治	同	同 十一年七月	富岡久助	
同 五月	平井文三	同	同 十二年一月	和田利之助	
			同 十三年八月	渡邊信平	
				渡邊修平	
				神忠司	
				川口佐吉	

大正十三年十二月

同 十四年三月

同 十四年四月

同 六月

同 十四年九月

昭和二年二月

高野敬之助

大野喜次郎

阿部欽次郎

森 總 吉

山村 瑳 摩 太

市村 照 太郎

日 本
橋 區

著名商工業者一覽

日本

著名商工業者一覽

米 穀 乾 物

伊 藤 商 店

蠣 穀 町 二ノ一
電話茅場町 二一五・二七九

(卸賣) 砂糖、麥粉、雜貨
(小賣) 吳服太物、洋金物、食料品
(仕入) 東京、京都、大阪、越後

一 木 彌 三 郎

堀 留 町 一ノ一
電話浪花 一五六五
振替東京 一一七三六

(卸賣) 雜穀、澱粉、乾物
(仕入) 北海道、關東、關西
(販賣) 關東、東北、東海道、市内

岩 瀨 小 三 郎

龜 島 町 一ノ四
電話茅場町 五八五

(卸賣) 米
(仕入) 內地、朝鮮、臺灣
(販賣) 市内外

池 田 忠 次 郎

本 材 木 町 二ノ一二
電話日本橋 三三三・一〇五七

(卸) 雜穀(入) 家庭晒館
(仕入) 北海道、滿洲、印度、ビルマ
(販賣) 市内

石 崎 株 式 會 社 東 京 支 店

元 大 阪 町 二
電話浪花 七九八・七九九・四〇三二
振替東京 九〇〇〇

(卸) 清酒
(製造) 精白
(仕入) 市内
(小賣) 清酒、白米、醬油、味噌、麥酒
(販賣) 市内、名古屋以東青森迄

日清製粉株式會社

末廣 河岸 一六
 五二六・八四〇・八九八・一三
 八二〇・一六八〇・二七〇・九・三
 一五〇・三一五・四一・五・三
 四二〇・九・四七四・六・五七四・二
 振替東京一四九六〇

電話浪花

(卸) 小麥粉(出) 麩 小麥(入) (製造) 同上

(仕入) 市内、米、加奈陀、濠、印、露、滿洲

(販賣) 市内、南洋、支那

西田商店

小網町三ノ二〇
 電話茅場町一五九五・五九六

(卸) 小麥粉

(仕入) 近縣 (販賣) 東京、地方

陶山清藏

小網町二ノ一二
 電話茅場町八九一・二六二九

(卸) 砂糖、小麥粉

(販賣) 市内、地方

小田時子

東萬 河岸 一四
 電話浪花 一二七・二一七六
 振替東京三二四〇六

(卸) 小麥粉

(仕入) 市内 (販賣) 市内

小倉茂三

龜島町一ノ一六
 電話茅場町五八四

(卸) 米穀

(仕入) 千葉、茨城、埼玉、越後、山形

(販賣) 市内

大島順三

小網町三ノ二〇
 電話茅場町五七九

(卸) 米、雜穀、麩

(仕入) 近縣、東北地方 (販賣) 市内近縣

加藤商業株式會社

通 二ノ一 一二
 電日本橋一三五一(4)

(卸) ゴム原料、外米、金物、砂糖、唐木

(仕入) 英、米、南支、南洋、印度

川口惣藏

小網 仲町 七
 電話浪花六六〇四
 振替東京八二二一

(卸) 蒟蒻粉、小麥粉

(販賣) 全國

米津豊七

龜島町二ノ三
 電話茅場町一四七〇・四七二

(卸) 米穀

(仕入) 全國、朝鮮、臺灣

(販賣) 市内各地

田村新吉

元 四日市町 九
 電話日本橋二五三〇・三五三一

(卸) 小麥粉(出入) 其他農產物(出入) 小麥、木材、パルプ、藥品、鐵、鋼鐵、建築材料、海產物(以上入) 穀類、種物、油類(以上出) 金屬天井(小賣) 同上

(製造) 金屬天井、小麥粉

(仕入) 内地各地、米、カナダ、南米、英、濠洲、歐洲

(販賣) 内地各地、支那、海峽植民地、南洋、米、カナダ

館野榮吉

小網町一ノ五
 電話浪花一一四・四一五・五九

(卸) 小麥粉、麩(入) 肥料(入)油

(仕入) 内地、滿洲、支那 (販賣) 市内、關東、東北

角田徑造

堀江町三ノ五
 電話浪花四六〇三

(卸) 白米(小賣) 白米(製造) 精米

(仕入) 地方及市内 (販賣) 市内

中村倉吉

小網町二ノ一
電話茅場町九六二
振替東京一七三七七

(卸) 乾物、雜穀、澱粉
(仕入) 全國 (販賣) 全國

中野商事株式會社

小網町二ノ一二
電話浪花 六五三・五六六・三三三

(卸) 砂糖、小麥粉
(販賣) 全國

百足屋商店

小舟町三ノ三
電話浪花 八八・九一・八一
一六八四・三六九七
振替東京四七二二

(卸) 小麥粉、砂糖(入) (製造) 砂糖
(仕入) 全國、爪哇、マニラ、香港
(販賣) 全國

松島清

藥研堀一
電話浪花三九四
振替東京二二一

(卸) 小麥粉、蕎麥粉 (製造) 蕎麥粉
(仕入) 市内(小麥粉) 北海道(蕎麥粉)
(販賣) 市内外

増田屋麥粉店

小網町二ノ一二
電話茅場町六八二・一〇六九

(卸) 小麥粉(内地、アメリカ、カナダ) 澱
(仕入) 内地 (販賣) 市内及地方

萬彌商店

室町一ノ五
振替東京二二三〇

(卸) 乾物、雜穀 (小賣) 同上
(仕入) 全國
(販賣) 全國

福田商店

本船町二
電話日本橋一八四一・二八四二
振替東京三四五三七

(卸) 乾物、雜穀、海產物、澱粉一般食料品(入)
(仕入) 全國、支那、南米、北米
(販賣) 全國、朝鮮、支那、南米、北米

福谷商店

箱崎町二ノ一八
電話茅場町六・一〇六八

(卸) 砂糖、小麥粉

駒木銀三郎

小網町三ノ一
電話茅場町一六〇五・二六〇四
振替東京一〇七二九

(卸) 海草(入) 昆布、布海苔、寒心太(出) 燐寸(出)
ロソク、線香(出) 石鹼、箸、砥石、フアイバー製
品、傘、ミルク、澱粉(入) 乾物、荒物、日傘(出)
束子(出) 蘇粉(入) 棕梠(入) パーム(入)
(製造) 昆布、ロソク、線香、石鹼、麵類、晒箔、燐寸
(仕入) 内地及領土、米、英、佛、南洋、支那、沿海州
(販賣) 内地、領土、米、佛、南洋、支那、沿海州

遠利商店

龜島町一ノ二一
電話茅場町 一七五〇ヨリ
一七五二マデ
同本所一九一四
振替東京一八二四六六

(卸) 米穀 肥料(入) 外國米(入) 雜穀(入)
(仕入) 全國、朝鮮、臺灣、米、暹羅、西貢、蘭貢、ピ
ルマ、印度、支那 (販賣) 全國、朝鮮、臺灣、南洋

高井義雄

馬喰町一ノ二三
電話浪花五六〇四
振替東京一七八六九

(卸) 玄米 (小賣) 白米

安部幸

小舟町二ノ八
電浪花自四三四一至四三四三
肥料、穀類、

(卸) 砂糖(出) 麥粉(出)
(販賣) 市内、地方、支那

古 山 藤 七

龜島町一ノ八
電話茅場町七〇八・七〇九
振替東京一六一九一
(卸) 白米 (小賣) 同上
(販賣) 市内 (製造) 同上

櫻 井 八 重 吉

葺屋町一
電話浪花五三四九
(卸) 小麥粉
(販賣) 市内、東北

三井物産株式會社

本町二ノ一
電話三五・三六・三七・三八
日本橋三五・三六・三七
振替東京五一
(卸) 米穀類、其他各種商品(以上出入) (製造) 造船
製材
(仕入) 内地全國、各國 (販賣) 内地全國、各國

廣 田 米 吉

龜島町一ノ一五
電話茅場町七九五
(卸) 米穀、麩
(仕入) 内地 (販賣) 内地

鈴 木 清 藏

小網仲町七
電話浪花九〇〇・四〇四七
(卸) 小麥粉、麩、砂糖
(仕入) 東京 (販賣) 關東、東北地方

肥 料 及 飼 料

館 野 榮 吉

小網町一ノ五
電話浪花二四・二〇四・一五五
(卸) 小麥粉、麩(入) 肥料(入) 油
(仕入) 内地、滿洲、支那各地
(販賣) 市内、關東、東北

村井貿易株式會社

元四日市町一〇
電話日本橋一二二一(4)
(卸) 洋紙、スベリ草、毛織、鐵物(以上入) 雜貨(出入)
諸機械(出入) 印刷インキ(入) 石炭、肥料
(仕入) 英、米、獨、佛、瑞、伊、
(販賣) 東京、大阪、朝鮮、北海道、全國、英、米、獨、支

小 西 安 兵 衛

伊勢町一ノ六
電話九一五 自三四九〇
日本橋 至三四九四
振替東京二二一三
(卸) 洗顏料藥品、農藝用藥品、工業用藥品(入) 肥料
(仕入) 全國、獨、佛、伊、英、米
(販賣) 全國

南 昌 洋 行

吳服町一〇
電話日本橋二五二五
(卸) 石炭、木材、建築材料、工業藥品、肥料
(仕入) 内地、滿洲
(販賣) 滿洲

遠 利 商 店

龜島町一ノ二一
電話茅場町 自七五 至七五三
振替東京一八二六六
(卸) 米、肥料、雜穀(以上入)
(仕入) 全國、朝鮮、臺灣、米、暹羅、西貢、蘭貢、ビ
ルマ、印度、支那 (販賣) 全國、朝鮮、臺灣、南洋

安部幸

小舟町二ノ八
電話浪花自四三四一 至四三四三
肥料、穀類
(卸) 砂糖、麥粉(以上出)
(販賣) 市内、地方、支那

三共貿易株式會社

吳服町二一井田ビル内
電話日本橋二四八六・三四八七
(卸) 建築材料、木材、麩、鹽鮭、南洋産材木(以上入)
(製造) 建築材料
(仕入) カナダ、米、支、南洋

三井物産株式會社

本町二ノ一
電話 三五・三六・三七・三八
日本橋 三五・三六・三七
振替東京 五一
(卸) 肥料、其他各種商品(以上出入)
(仕入) 全國、各國
(販賣) 全國、各國

柴田商店

瀬戸物町八
電話日本橋 六五・六六・六八・六九五
振替東京 八九五三
(卸) 染料、顔料、工業藥品、肥料(以上入) 雜貨
(仕入) 全國、獨、米 (販賣) 全國

島貿易株式會社

平松町一二
電話日本橋 三一六八(2)
(卸) 金物、建築材料、塗料、洋紙、パルプ、醫藥、工業藥、肥料、油脂、タンニン材、雜貨(以上入)
(仕入) 米、加奈陀、佛、西班牙、和、獨、瑞典、諾威、伊、亞爾然丁

住友合資會社

平松町七
電話 三三・三三〇・三三〇
日本橋 三四一〇 三五(3)
振替東京 四二二・三二四
(卸) 電線、電纜、銅、眞鍮、合金類製品、製鋼品、人造肥料、金銀銅地金、石炭
(販賣) 東京、關東、東北

鮮魚・鹽干魚・海産物

伊佐奈商店

元柳町二九
電話浪花 三四一七
振替東京 五六九六
(卸) 鯨肉、食料品一式、鯨油、鯨鬚細工品
(製造) 鯨肉罐詰、其他魚類罐詰一式
(仕入) 三陸方面
(販賣) 市内及東北其他一般

泉平藏

古物町九
(卸) 海産物、鯨節
(仕入) 市内及地方
(販賣) 市内及地方

石福嘉兵衛

蠣殻町一ノ三
電話浪花 四三六二・二二八三
(卸) 蒲鋒、ハンペン (小賣) 同上 (製造) 同上
(仕入) 市内 (販賣) 市内

今澤徑藏

元四日市町一一
電話日本橋 三一六
(卸) 海産物、鯨節
(仕入) 各地
(販賣) 各地

西川政吉

元四日市町一一
振替東京 五四八四
(卸) 海産物、鹽乾魚一般、鮭(入)
(仕入) 北海道、東北、北陸、朝鮮、樺太、東海道、關西、英領加奈陀 (販賣) 東京及各地一般

日米水産株式会社

吳服町 二九
 電話日本橋 五・一五
 振替東京三〇九〇〇
 (卸) 粕漬鱈、日米肝油及日米ビタミンA(以上出)
 (小賣) 粕漬鱈、日米肝油及日米ビタミンA(製造)同上
 (仕入) 千島幌筵島 (販賣) 全國、朝鮮、臺灣、支那

北海道商會

元四日市町 八
 電話日本橋 二四一六
 (卸) 海産物一式、鹽鮭、筋子
 (仕入) 北海道、樺太、北米及加奈陀、露領沿海洲
 (販賣) 市内

小澤海産商店

元四日市町 七
 電話日本橋 五九六
 (卸) 鮭、鱈、筋子(入) 身欠練、數子、米國式開鱈
 乾錫、生鱈、甲長魚、鯉節、貝柱、ムキ蛭外鹽乾魚一
 般鹽鱈(出)
 (仕入) 北海道、三陸、北陸、晚香坡、ストン、露領各
 地 (販賣) 全國、臺灣、香港、上海、大連

大川伊三郎

古物町 二〇
 電話日本橋三四八二
 (卸) 鹽鮭、鹽鱈、干錫、數子、干蛭、身欠練、其他
 海産物一般、筋子(入)
 (仕入) 北海道、樺太、磐手、青森、宮城、靜岡、兵庫
 三重、朝鮮、英領加奈陀、晚香坡

渡邊大治郎

古物町 一六
 電話日本橋二〇八二
 (卸) 海産物、鹽干魚類、鹽鮭筋子(入) 鹽鱈(出)
 (仕入) 英領加奈陀 (販賣) 支那

脇坂梅太郎

本船町 一六
 振替東京一五一三
 (卸) 鯉節海産物
 (仕入) 各地 (販賣) 市内、各地方

加藤鐵彌

堀江町 四ノ一
 電話浪花一六三五
 (卸) 鯉節、海産物(製造) 鯉節、削節
 (仕入) 駿遠豆、土佐、薩摩、常磐
 (販賣) 東京及諸國

田村新吉

元四日市町 九
 電話日本橋二五三〇・三五三一
 振替東京四四二二
 (卸) 小麥粉、農産物(以上出入)
 米、穀類、種物、油類(以上出)
 小麥、パルプ、藥品、鐵、鋼鐵、建築材料、海産物
 (以上入) 金屬天井
 (製造) 金屬天井、小麥粉
 (仕入) 内地、米、加奈陀、南米、英、濠洲、歐
 (販賣) 内地、支那、海峽殖民地、南洋、米、加奈陀

川口磯吉

本材木町 一ノ八
 電話日本橋四〇四三
 振替東京三八六〇四
 (卸) 海産一切、カナダ鹽鮭(入) 鹽鱈(出)
 (小賣) 海産一切 (製造) 切錫
 (仕入) 北海道、樺太、東海道沿岸、カナダ、晚香坡
 (販賣) 全國、殊ニ奥羽、關東、支那

竹内專三

本船町 一四
 振替東京二八五
 (卸) 鯉節、干魚
 (仕入) 沖繩、鹿兒島、宮城、岩手
 (販賣) 東京府、群馬、栃木、千葉、茨城

横溝清助

本船町 一五
 電話日本橋三〇一五
 (卸) 鯉節、干錫、海産物一式
 (仕入) 市内、地方 (販賣) 同上

塚田商店

元四日市町八
電話日本橋三〇九六
振替東京一九〇五八

(卸) 干錫、鮭、米國鮭(入)其他乾物、海産物一式
(仕入) 北海道、三陸、バンクーバー、シヤトル、
(販賣) 新潟、長野、茨城、千葉、神奈川、栃木、福島

中島善兵衛

古物町一七
電話日本橋三九二九
振替東京一七〇三八

(卸) 干魚
(仕入) 北海道、三陸、市内
(販賣) 神奈川、信越、東海道、栃木、千葉、埼玉、
宮城、茨城、福島、群馬、東京市内

村田彦藏

古物町六
電話日本橋二五一〇

(卸) 鹽鮭、鱒、鱈、干鰯、其他鹽干魚
(仕入) 三陸地方、北海道 (販賣) 東京、神奈川、
埼玉、千葉、茨城、福島、群馬、栃木

室伏和三郎

室町一ノ一
電話日本橋六二七
振替東京一五六〇一

(卸) 海産物加工品 (小賣)同上 (製造)魚類漬物
(仕入) 全国各地 (販賣)市内地方

八木長兵衛

室町一ノ一
電話日本橋三〇三七

(卸) 海産物、鰹節 小賣(同上)
(仕入) 内地 (販賣) 内地

八木又兵衛

古物町二〇
電話日本橋一七一七
振替東京三八六二

(卸) 乾錫、鱈煮干、干魷子、干海老 (小賣)同上
(仕入) 全國
(販賣) 全國

山崎彌兵衛

本船町一七
電話日本橋二六〇二
振替東京四〇一二

(卸) 鰹節、干錫、鹽干魚

福田商店

本船町二四
電話日本橋一八四一・一八四二
振替東京三四五三七

(卸) 食料品(入) 乾物、雜穀、海産物、澱粉
(仕入) 全國、支那、南洋、北米
(販賣) 全國、朝鮮、支那、南洋、北米

駒木銀三郎

小網町三ノ一
電話茅場町一六〇四・一六〇五
振替東京一〇七二九

(卸) 海草(入)昆布、布海苔、寒心太(出)燐寸(出)ローソク、線香(出)石鹼、箸、砥石、ファイバー製品、傘
(出)ミルク、澱粉(入)乾物、荒物、束子(出)蕨粉(入)棕梠(入)バーム(入) (製造)昆布、ローソク、線香、石鹼、麵類、晒餡、燐寸
(仕入) 内地及領土、米、英、支、南洋
(販賣) 内地、領土、米、佛、南洋、支那、沿海洲

青木宇太郎

古物町二一

(卸) 干錫(出) 鰹節(出入) 雜魚(入) 鹽鮭(入) 鹽鱒(出) (製造) 刻錫

(仕入) 北海道、樺太、朝鮮、メキシコ、カナダ
(販賣) 各縣、北海道、樺太、朝鮮、南洋、ハワイ、北米、支那

三共貿易株式會社

吳服町二一
振替東京三一三六二

(卸) 建築材料、木材、鋸、鹽鮭、南洋産木材
(製造) 建築材料
(仕入) カナダ、米、支那、南洋

島田喜三郎

元四日市町七
電話日本橋一七〇六
振替東京二九八七二

(卸) 鹽干魚

粗山商店

四日市河岸三號地
電話浪花 一六七・一六八
振替東京 二七一〇

(卸) 鹽鮭鱒(出入) 干鰯(出) 干鱈(出) 筋子(入)

鯿、鱈、鰹節

(仕入) 全國、バンクーバー、シヤトル

(販賣) 市内、全國、支那、滿洲

海苔

外地 誠一

通 二ノ二一

電話日本橋 六二五・四〇八九

振替東京 一二七〇六

(卸) 海苔、鰹節 (小賣) 海苔、鰹節、食料品

(製造) 海苔加工品

窪田惣八

室町 一ノ八

電話日本橋 三三二・七二二

振替東京 八六七〇

(卸) 乾海苔(出)

(小賣) 同上

(仕入) 東京

(販賣) 全國、臺灣、樺太、朝鮮、支那

山本徑治郎

室町 一ノ五

電話日本橋 二六一・二六二

振替東京 五一五五

(卸) 乾海苔

(小賣) 同上

鰹節

泉平藏

古物町 九

(卸) 海產物、鰹節

(仕入) 市内及地方 (販賣) 同上

外地 誠一

通 二ノ二一

電話日本橋 六五二・四〇八九

(卸) 海苔、鰹節 (小賣) 海苔、鰹節、食料品

(製造) 海苔加工品

大和田保次郎

古物町 六

電話日本橋 三九六三

(卸) 鰹節

(仕入) 各產地、東京市内 (販賣) 各地方、東京市内

脇坂惣助

魚河岸 五八
電話日本橋三九四六
振替東京二三六〇四

(卸) 海産物、鯉節

(仕入) 鹿兒島、沖繩、臺灣、静岡、福島、宮城

(販賣) 市内、埼玉、群馬、栃木、茨城、千葉、長野、新潟

脇坂梅太郎

本船町 一六
電話日本橋二七八一
振替東京一五一三

(卸) 鯉節、干魚、干鰯(出)

(仕入) 各地 (販賣) 全國

加藤鐵彌

堀江町 四ノ一
電話浪花一六三五
振替東京九九七四

(卸) 鯉節、海産物 (製造) 鯉節、削節

(仕入) 駿遠、伊豆、土佐、薩摩、常磐、三陸

勝榮助

本船町 一七
電話日本橋一四八四
振替東京五七六七七

(卸) 鯉節

(仕入) 全國

横溝清助

本船町 一五
電話日本橋三〇一五

(卸) 鯉節、干鰯、海産物一式

(仕入) 市内地方 (販賣) 同上

竹内專三

本船町 一四
電話日本橋二七一五
振替東京二八五

(卸) 鯉節、干魚

(仕入) 沖繩、鹿兒島、宮城、岩手

(販賣) 東京府、群馬、千葉、栃木、茨城

上山喜太郎

古物町 九
電話日本橋八二三

(卸) 鯉節

(販賣) 東京市内、近縣、大阪、伊勢

八木長兵衛

室町 一ノ一
電話日本橋三〇三七

(卸) 海産物、鯉節 (小賣) 同上

(仕入) 内地 (販賣) 内地

山崎音吉

室町 一ノ一
電話日本橋一九九五
振替東京五八六九一

(卸) 鯉節 (小賣) 鯉節、食料品

(仕入) 静岡、東京 (販賣) 市内

山崎彌兵衛

本船町 一七
電話日本橋二六〇二
横替東京四〇一二

(卸) 鯉節、干鰯、鹽干魚

藤森助三郎

古物町 一九
電話日本橋六九九

(卸) 鯉節

(仕入) 全國

(販賣) 全國

阿部長兵衛

小舟町 二ノ一〇
電話浪花二一四六
振替東京三三三七九

(卸) 鯉節

(仕入) 内地、臺灣

(販賣) 同上

和田善兵衛商店

蠣殻町一ノ四
電話茅場町二七四八
振替東京一五一〇四

高橋門兵衛

住吉町一六
電話浪花二六二六・三〇九八
振替東京一三五一八

(卸) 酒、醬油
(仕入) 各地 (販賣) 主トシテ市内

(卸) 和洋酒、罐詰類 (小賣) 同上
(仕入) 京濱、其他 (販賣) 同上

川井商店

通油町九
電話浪花六二二・七五四
振替東京三四二二

高梨仁三郎

小網町三ノ二九
電話茅場町一七二二・二七二三
振替東京二九三九二

(卸) 洋酒(入) 食料品、罐詰、日本酒、乳製品(入)
(仕入) 全國、英、米、佛、瑞、西
(販賣) 全國(主トシテ關東以北)

(卸) 醬油、味噌、酢、味醂、燒酎
(販賣) 東京、橫濱、近縣

神崎三郎兵衛

米澤町一ノ二
電話浪花三四・七五・一七五
振替東京四三九五

高崎經之助

蠣殻町一ノ四
電話茅場町二五八七
振替東京一一六九一

(卸) 和洋酒、食料品、罐詰類
(仕入) 東京 (販賣) 東京

(卸) 酒類、醬油

中野長兵衛

小網町三ノ二五
電話茅場町五七七・五七八
振替東京二八八八

山邑酒造株式會社支店

元四日市町一〇・村井ビル内
電話日本橋自一五七至一五九
振替東京一五〇七七

(卸) 醬油、酒類
(仕入) 關東地方

(販賣) 京濱及近縣

(製造) 清酒(櫻正宗)
(販賣) 關東、奥羽

中條商店

蠣殻町一ノ四
電話浪花八九一・二五八二
振替東京六一八八

升本幸太郎

南茅場町一六
電話茅場町九二七

(卸) 醬油、味噌、味醂、燒酎、清酒、銘茶
(製造) 醬油 (龜甲山二印)
(仕入) 千葉、茨城(醬油) 山城、伊賀、駿遠(茶)
(販賣) 東京及近縣

(卸) 酒
(仕入) 灘五都、中國、廣島、山口、青森、福島、埼玉、京都、伏見、三重、山梨 (販賣) 市内、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木、愛知

村上商店

小網町三ノ一八
電話茅場町一三九・一三九二
振替東京五七一四

升本喜三郎

蠣殻町二ノ一
電話茅場町二三七一
振替東京一三四二〇

(卸) 清酢、醬油、味噌、清酒、燒酎、味醂、本直シ
飲料水 (仕入) 千葉、愛知、京都、廣島、宮城、兵庫、埼玉 (販賣) 東京、神奈川、靜岡、千葉、群馬、埼玉、茨城、東北地方

(卸) 醬油、清酒、清酢、味噌、味醂、燒酎、直耐
(仕入) 千葉、茨城、群馬、埼玉、栃木、靜岡、三重、愛知、京都、大阪、和歌山、廣島
() 東京、千葉、埼玉、神奈川

深井吉兵衛

小網町三ノ一九
電話茅場町四五三

近藤利兵衛商店

本町二ノ九
電話日本橋 自三三一 至一三三四
振替東京五一五七七

(卸) 醬油、酒類

小西新右衛門

南茅場町一三
電話茅場町 三三三・三三六・三三九

(卸) 葡萄酒(蜂印香鼠及牛久赤白)

(仕入) 神谷傳兵衛本店製品販賣

(販賣) 全國、支那、南洋

近藤辰次商店

西河岸一五・一六號地
電話日本橋二四八・三八七四
振替東京六七二九三

(卸) 清酒

(仕入) 兵庫 (販賣) 東京市内、近縣

國分商店

通一ノ一九
電話日本橋自三七一至三七九
振替東京二〇二八 仙臺六一四五

(卸) 和洋酒、食料品類

荒井佐五兵衛

箱崎町一ノ一
電話茅場町三三 浪花七〇六
振替東京三八〇七五

(卸) 洋酒、食料品(以上入) 醬油(出) 燒酎、味醂、

罐詰(出)

(仕入) 全國、英、米、佛 (販賣) 全國、米、南洋

支那

(卸) 清酒、醬油、白酒、味醂、燒酎
(製造) 白酒、味醂
(入) 兵庫、會津、廣島、岡山、東京市内
(販賣) 市内

三澤屋商店

坂本町三五
電話茅場町二四三〇・二四二一
振替東京四二三四

樋口商店

南茅場町五七
電話茅場町九六・三二〇三九

(卸) 和洋酒、罐詰(出) 胡椒、香辛料、綿實油、其

他食料品(以上入) 鶏肉田麩(出) (小賣) 同上

(製造) 罐詰、ソース、カレー 西洋藥品

(仕入) 市内、内地、北海道、南洋、北米、歐洲

(販賣) 市内、内地、北海道、米

(卸) 和洋酒類、醬油、味噌、酢、食料品、
(小賣) 和洋酒類、醬油、味噌、酢、鹽、茶、食料品一式
(仕入) 市内、愛知、埼玉 (販賣) 市内外

水口物産株式會社

馬喰町三ノ三
電話浪花三一七〇・三六九〇
振替東京二八二六一

森本芳兵衛

新葎町七
電話浪花八〇・九四三・三六六

(卸) 鐵材、洋紙、毛織物、葡萄酒(以上入) 麻織物

食料品、和紙

(仕入) 福井縣鯖江、獨、英、佛

(卸) 酒類、醬油

鈴木洋酒店

本町三ノ四
電話日本橋 自一四三 至一四三三
振替東京二六九〇

(卸) 洋酒、食料品、罐詰(以上入) 煉乳、藥味、和酒

(仕入) 全國、英、佛、米、加奈陀、マニラ

(販賣) 全國

日比野商店

西綠河岸七號地
電話浪花 自三六〇 至三六四
振替東京一七七三

(卸) 和洋酒、食料品、諸罐詰、生葡萄酒(入)

(仕入) 市内、地方、佛 (販賣) 市内、地方

砂 糖

伊藤 幸 又

小網 町 一ノ 六
電話浪花 一三二八・一三九

(卸) 砂糖
(販賣) 市内、群馬、埼玉、茨城、栃木、福島

株式會社伊藤商店

蠣殻 町 二ノ 一
電話茅場町 二・一五・二七九

(卸) 砂糖、麥粉、雜貨
(小賣) 吳服、太物、洋金物、食料品
(仕入) 東京、京都、大阪、越後

日本砂糖貿易株式會社

蠣殻 町 一ノ 四
電話茅場町 自三六 至三六
浪花 一

(卸) 砂糖(出入) 外米、小麥、包装材料(以上入)
(仕入) 爪哇、玖瑪、比律賓、北米、濠州
(販賣) 東京、大阪、支那

西川庄六支店

通 四ノ 九
電話 一四二八・一四二九
日本橋 自二〇八七至二〇八九
振替東京 一八三六二

(卸) 砂糖、操綿、紡績綿、蚊帳、真綿
(小賣) 打綿、真綿、蚊帳 (製造) 打綿
(仕入) 東京、横濱
(販賣) 東海道、静岡以東、近縣、奥州、信越

陶山清藏

小網 町 二ノ 一二
電話茅場町 八九一・一六二九

(卸) 砂糖、小麥粉
(販賣) 市内及地方

殿木商店

小舟 町 一ノ 二
電話浪花 自五至五・若・四三
振替東京 六一〇八

(卸) 砂糖 (小賣)

大島商店

小網 町 三ノ 一一
電話 自三七 至三七・三七
茅場町 振替東京 一二一九三

(卸) 砂糖
(仕入) 各地、玖瑪、爪哇、フィリッピン
(販賣) 内地

岡常吉

本町 三ノ 一一
電話日本橋 一七二三・七二四

(卸) 砂糖 (小賣)
(仕入) 爪哇

加藤商業株式會社

通 二ノ 一二
電話日本橋 一三五一
(卸) 護謨原料、外米、金物、砂糖、唐木(以上入)
材木
(仕入) 英、米、南支、南洋、印度

吉田貞次郎

蠣殻 町 一ノ 四
電話茅場町 三三二六

(卸) 砂糖

高津商店

小網 町 二ノ 九
電話茅場町 一六九二・一六九四・一〇九七
振替東京 七九四七

(卸) 砂糖(入)
(仕入) 市内、マニラ、(販賣) 市内、地方、

中野商事株式會社

小網 町 二ノ 一二
電話浪花 二七三・六六五・六六六
(卸) 砂糖、小麥粉
(販賣) 東京市及全國

百足屋商店

小舟町三ノ三
電話浪花八八・九一・一六八四
八一九・三八六七
振替東京四七二二

(卸) 砂糖(入) 小麥粉(製造) 砂糖
(仕入) 全國、爪哇、マニラ、香港
(販賣) 全國

松本喜三郎商店

堀留町一ノ二
電話浪花四二三・四二四

(卸) 砂糖
(仕入) 市内
(販賣) 市内、地方

松本君藏商店

小網町三ノ二
電話茅場町三九二・七八四

(卸) 砂糖
(販賣) 市内、地方

増田屋東京支店

小網町二ノ一二
電話茅場町二一・六八〇・六八一

(卸) 砂糖
(仕入) 東京
(販賣) 京濱、東海道、兩毛、東北

福谷商店

箱崎町二ノ一八
電話茅場町六・一〇六八

(卸) 砂糖、小麥粉

阿部幸商店

小舟町二ノ八
電話浪花自四四一 至四四三

(卸) 砂糖(出) 麥粉(出) 肥料、穀類
(販賣) 市内、地方、支那

三井物産株式會社

本町二ノ一
電話自二二五一至二二八五
日本橋自二三五一至二三七五

(卸) 砂糖、其他各種商品(以上出入)
(仕入) 全國
(販賣) 全國

菓子及菓子原料

池田忠次郎

本材木町二ノ一二
電話日本橋三三三・一〇五七
振替東京九六〇七

(卸) 内外雜穀、家庭晒あん、雜穀類(入)
(仕入) 北海道、滿洲、印度、ビルタ
(販賣) 市内

細田安兵衛

西河岸一
電話日本橋自二二五至二二七
振替東京二〇四〇〇

(卸) 日本菓子(出) (煉羊羹、罐詰)
(小賣) 同上
(製造) 同上
(販賣) 市内及京都、名古屋、百貨店、米國

鈴木源吉

堀留町二ノ一六
電話浪花五〇九八・五〇九九

(卸) 砂糖
(仕入) 市内
(販賣) 市内

鈴木清藏

小網仲町七
電話浪花九〇〇・四〇四七

(卸) 小麥粉、麩、砂糖
(仕入) 東京
(販賣) 關東、東北地方

小澤克巳本店

南茅場町 二一
電話茅場町 七七・一〇一八
振替東京二〇〇二

(卸) 着色料(飲食物)ニエキス(出)製菓原料、大一
印晒水飴(出)グルコース(出)醸造用機械器具、澱粉各
種(入)藥種(出入)

(小賣) 同上 (製造) 同上
(仕入) 全國、滿鮮、支那、南洋
(販賣) 全國、滿鮮、支那

二葉商店

伊勢町 一三
電話日本橋一〇三八
振替東京一七〇六二

(卸) 澱粉、晒水飴、タピオカ粉、セーゴ粉(入)
(仕入) 東京及關西南洋方面
(販賣) 東京及關西

佐藤商店

本石町 一ノ九
電話日本橋 八七・二九二六
振替東京三六〇三一

(卸) 工業藥品一般(入) 菓子原料(入)
(仕入) 佛、獨、伊、英、米、

米津松造

若松町 一
電話浪花 五一八・五一九
振替東京二五一七二

(卸) ウェーファース(出) ビスケット、デザート、
サブ
(小賣) 和洋菓子、食料品 (製造) 和洋菓子
(仕入) 全國 (販賣) 全國、朝鮮、新嘉坡

澤村商店

龜井町 八
電話浪花五三六三
振替東京一二七五一

(卸) 菓子
(仕入) 大阪、名古屋、岡崎、東京、相崎、長岡、横濱
小山 (販賣) 東京、大阪、京都、下關、名古屋、
信越、兩毛、東北地方

木政商店

新和泉町 六
電話浪花 二六八〇・二七八八
振替東京七二三三

(卸) 和洋菓子
(仕入) 市内
(販賣) 全國

茶

小澤清左衛門

本館 四ノ二三
電話日本橋三四九五六
振替東京一三二六

(卸) 和紙、茶
(仕入) 各產地
(販賣) 各國

茂木商店

龜井町 三一
電話浪花 六二九五・六二九六
振替東京六七〇三

(卸) 和洋菓子
(仕入) 東京、地方
(販賣) 門司、滿鮮

岡安正助

濱町 二ノ一四
電話浪花三四〇〇
振替東京七七二八

(卸) 茶
(小賣) 同上
(仕入) 靜岡、京都、滋賀、奈良、埼玉
(販賣) 市内、千葉、群馬、神奈川

中條商店

彌穀町一ノ四
電話浪花八九一・二五八二
振替東京六一八九

(卸) 醬油、味噌、味淋、燒酎、清酒、銘茶

(製造) 醬油(龜甲山二印)

(仕入) 千葉、茨城(醬油) 山城、伊賀、駿遠(茶)

(販賣) 東京及近縣

山本嘉兵衛

通二ノ七
電話自五二三至五二五
日本橋自三九五〇至三九五二
振替東京一六〇

(卸) 茶 (小賣) 同上

(仕入) 京都、静岡、埼玉、東京

(販賣) 全國、臺灣、滿洲、朝鮮、北海道、樺太

煙草

龜澤半次郎

本町二ノ一九
電話日本橋一六〇三・二六〇四
振替東京二五一二七

(卸) 煙草元賣捌業

(仕入) 東京地方專賣局

(販賣) 市内

吳服太物

井田長作

新大阪町四
電話浪花五九一
振替東京二二六一二

(卸) 染木綿

(仕入) 大阪、京都、濱松、佐野、各古屋、東京

(販賣) 市内、近縣、信越、奥州、東海道、大阪、名古屋

伊藤商店

彌町二ノ一一
電話茅場町二一五・二七九

(卸) 砂糖、麥粉、雜貨

(小賣) 吳服、太物、洋金物、食料品

(仕入) 東京、京都、大阪、越後

伊藤彦七

通旅籠町一
電話浪花一八八
振替東京二七二八

(卸) 綿布加工品一式、國產織物

猪田喜三郎商店

橋町二ノ六
電話浪花六六四〇
振替東京一八二六

(卸) 織物

(仕入) 伊豫、備後、京都、尾州、遠州、三州、桐生、

足利、青梅、所澤、大原、蕨

(販賣) 樺太、北海道、全道、東北、關東全部、市内

飯田元七

通旅籠町二七
電話浪花五五八〇
振替東京一三二三三

(卸) 織物

(仕入) 府下、遠州、尾州、備後、埼玉、三州、松山、

久留米 (販賣) 内地各縣

市田彌惣右衛門

橋町 二ノ三
電話浪花 四七四・六四九
振替東京 七〇〇

(卸) 關東織物
(仕入) 兩毛、長井、米澤近在、遠州
(販賣) 東京及地方

市田文次郎東京店

新乗物町 一四
電話浪花 二九六・三二五

(卸) 京吳服、桐生御召、大島緋、セール
(製造) 同上
(仕入) 京都、桐生、尾州、琉球 (販賣) 市内地方

市田繁藏

久松町 三
電話浪花 一二四九
振替東京 一〇二六九

(卸) 京吳服、關東吳服
(販賣) 市内地方

市田商店支店

田所町 二七
電話浪花 六七・六八
自五五四至五五六

(卸) 吳服、綿布、洋物、織物一式
(製造) 吳服染加工、瓦斯染加工
(仕入) 京都、大阪、奈良、愛知、静岡、武州及市内
(販賣) 市内、名古屋以東、北海道及諸縣

岩井商店

米澤町 一ノ一
電話浪花 四四六

(卸) 内外織物
(仕入) 京都、名古屋、福井
(販賣) 京都、關西

岩下良吉

鷹殻町 二ノ一三
電話茅場町 二四六八

(小賣) 吳服、太物、モスリン

福山商店

堺町 八
電話浪花 四〇〇七

(卸) 琉球織物
(仕入) 琉球及鹿兒島、市内、京都、大阪
(販賣) 市内

池田長吉商店

通旅籠町 八
電話浪花 四一二
振替東京 六六五二

(卸) 雜綿布、諸仕立物
(仕入) 各產地 (販賣) 東北、信越、北海道、樺太
(製造) 加工

池田中

通二ノ一
電話日本橋 一六二八
振替東京 一〇一七三

(卸) 吳服 (小賣) 同上
(仕入) 東京及各產地 (販賣) 市内
(製造) 同上

今井久左衛門

富澤町 七
電話浪花 二〇六四

(卸) 木綿金巾類 (製造) 裏地、中形、更紗類
(仕入) 東京、京都、大阪、名古屋 (販賣) 市内、
神奈川、千葉、埼玉、石川、東京、東海道、愛知、三
重

石井合名會社

橋町 一ノ五
電話浪花 八三〇・一二四八
振替東京 三九四六

(卸) 絹布、綿布、交織物
(仕入) 兩毛、埼玉、八王寺、遠州、三州、尾州、西陣
大和、備後、伊豫、久留米
(販賣) 奥羽六縣、信越、佐渡、北陸、千葉、茨城、神
奈川

石井商店

堀留町二ノ一九
電話浪花二〇〇一
振替東京二〇一二六
(卸) 木織、織物
(仕入) 市内、京阪
(販賣) 近縣

畑龍雄

長谷川町二五
電話浪花四二五一
(卸) 久留米餅、久留米縞、松山餅
(仕入) 久留米、松山
(販賣) 市内、各デパート及東海道、信越、東北

石川安太郎商店

橋町一ノ一
電話浪花六三九〇
振替東京一七七〇八
(卸) 中形裏地 (製造) 中形裏地
(仕入) 各地 (販賣) 各地

濱田四郎吉商店

高砂町三
電話浪花一六九九
(卸) 吳服、太物
(仕入) 八王寺、兩毛、近在、尾州
(販賣) 市内、近縣

馬場幸七

瀬戸物町一八
電話日本橋一五七九
(小賣) 吳服、太物
(仕入) 市内
(販賣) 市内

橋本商店

通旅籠町四
電話浪花一一九三・一一九四
振替東京一〇四七三
(卸) 綿布一式
(仕入) 京都、大阪、愛知
(販賣) 關東及東北地方

伴傳兵衛

通一ノ四・五
電話日本橋自二一二至二一七
振替東京六二六二仙臺六二一六
(卸) 蚊帳、生地
(小賣) 蒲團、毛布、蚊帳、吳服類
(製造) 蒲團、蚊帳
(仕入) 市内、滋賀、福井
(販賣) 市内、東北地方、臺灣

西川甚五郎

通一ノ一
電話日本橋自五七二至五七九
振替東京四四九
(卸) 蚊帳、蒲團、毛布、麻糸
(小賣) 蚊帳、蒲團、モスリン、めいせん、子供用品
(製造) 蚊帳、蒲團類其他
(仕入) 各產地 (販賣) 東京市内及府下、關東地方
奥羽、北海道、臺灣、滿洲、朝鮮

西川政吉商店

彌生町五
電話浪花二九四五
振替東京二二三一
(卸) 和洋織物、風呂敷、更紗(出) 毛斯綸(出) 友
仙類(出) クリーコート(出)
(製造) 風呂敷
(仕入) 全國
(販賣) 全國、米、南洋、印度

西村伊亮

新大阪町三
電話浪花一一三四・二一三八
振替東京八四二〇
(卸) 蚊帳及太物
(仕入) 埼玉、東京府下、關西
(販賣) 市内近縣

西陣織物株式會社

伊勢町一〇
電話日本橋二五六七
(卸) 西陣織帶地
(仕入) 京都 (販賣) 各地

西彦商事株式會社

久松 町一五
電話浪花 三三五
振替東京 二四〇〇

星野清一郎

富澤 町一五
電話浪花 一四九一
振替東京 二五六一八

(卸) 綿布(染木綿)

(裨造) 綿布加工品(中形)裏地

(仕入) 名古屋、濱松、埼玉、足利

(販賣) 内地一般

堀口兵助

彌生 町三
電話浪花 六〇一〇
振替東京 一四〇九九

(卸) 足利近在織物、松山紜、
浴衣地、木綿物

(製造) 木綿裏地、木綿浴衣地

(仕入) 足利近在、遠三州、久留米、松山、市内

(販賣) 近在、東海道、上州地方常盤、甲信地方

本田啓次郎

濱町 二ノ九
電話浪花 六一三・七一五九

(卸) 織物

坊野商店

橋町 二ノ二
電話浪花 一三三〇・一四六〇
振替東京 一八四一四

(卸) 吳服、太物

(仕入) 秩父、伊勢崎、桐生、足利、京都、栃尾、十日町

(販賣) 市内

外村彌治右衛門

長谷川 町八
電話浪花 四三二
振替東京 一九二七〇

(卸) 木綿織物

(仕入) 大阪、久留米、伊豫、三河

(販賣) 市内、群馬、栃木、福島

(製造) 手拭、手拭中形

千代田屋

通一ノ一三
電話日本橋 三八八九
振替東京 五八四五六

小川純吉商店

濱町 一ノ一一
電話浪花 六八六〇

(小賣) 織物、並諸雜貨

千谷由太郎

若松 町二一
電話日本橋 五九九五
振替東京 九六七七

大橋安次郎

富澤 町九
電話浪花 九一五・二〇四三

(小賣) 履物、浴衣

(仕入) 市内 (販賣) 市内

小川源兵衛

富澤 町一八
電話浪花 二七五六

大岡商店

堺 町五
電話浪花 三三九

(卸) 織物(綿織物、絹綿交織中形)

(仕入) 東京一在、川越、所澤、結城、方面

(販賣) 東京、横濱、大阪、京都、名古屋

(卸) 御召、變日生地

(仕入) 桐生市 (販賣) 市内

大澤商店

新材木町一四
電話浪花三二七一

(卸) 木綿織物
(仕入) 京阪、遠、三、尾州、知多
(販賣) 市内及近縣

大辻松吉商店

彌生町五
電話浪花六四〇七

(卸) 綿布一式
(仕入) 伊豫、松山、大阪、京都、名古屋、濱松、青梅
(販賣) 市内、埼玉、栃木、茨城、千葉、群馬、神奈川
甲州

大久保久次商店

富澤町一一
電話浪花九一四
振替東京五八七五

(卸) 吳服太物
(仕入) 兩毛近在、遠、尾、州
(販賣) 内地市内

大熊丑之助

田所町一七
電話浪花六一〇三
振替東京二一七八二

(卸) 綿織物(唐棧類)
(仕入) 埼玉、青梅、遠州、三州、尾州
(販賣) 市内及近縣

大森長次郎

本石町四ノ二六
電話日本橋一三・二六・三九六
振替東京八七六七

(卸) 染絹、銘仙
(仕入) 埼玉、群馬
(販賣) 全國、朝鮮、滿洲

王子染色株式會社

新乘物町一二
電話浪花二〇三七・一六六
振替東京五〇一八

(卸) モスリン友仙
(製造) モスリン友仙染色加工
(販賣) 東京、大阪、名古屋

織商東京店

新大阪町一〇
電話浪花一九六

(卸) 西陣帶地
(仕入) 京都市
(販賣) 市内及地方

岡田小平商店

長谷川町八
電話浪花二七六七
振替東京一四三一六

(卸) 京染吳服、關東織物
(仕入) 各產地
(販賣) 市内及地方

岡正合資會社

富澤町四
電話浪花八七五・八七六・八七七
振替東京七九六五

(卸) 木綿中形、金巾裏地
(製造) 綿布加工
(仕入) 遠州、名古屋、近縣
(販賣) 内地全部

岡島久七商店

富澤町二八
電話浪花九八九
振替東京一一九七八

(卸) 八王寺織物、各地特殊製品
(仕入) 各產地
(販賣) 市内及地方

岡本仙助商店東京支店

通油町一一
電話浪花五六八九

(卸) 京染、吳服、半襟、小物、服裝品一式
(製造) 同上
(仕入) 京都市
(販賣) 市内

奥井武左衛門

彌留町二ノ一二
電話浪花二〇〇一
振替東京八五二六

(卸) 綿布、金巾
(仕入) 京阪、伊豫、久留米、名古屋、東京
(販賣) 關東、信越、奥羽

奧井新左衛門

傳馬町一ノ七
電話浪花八二六・一三五九
振替東京二八四六

(卸) 綿布

(仕入) 各產地、京都、大阪
(販賣) 東京、北海道、東北各縣

奧田藤八

久松町一
電話浪花四六二七
振替東京二九四五〇

(卸) 綿布、絹綿交織、絹布

(仕入) 埼玉、群馬、栃木、山梨、福岡、愛知、各縣、
東京府下 (販賣) 栃木、福島、宮城、青森、岩手
山形、秋田、新潟、北海道、樺太

奧澤商店東京出張所

葺屋町一
電話浪花四四七五

(卸) 綿布
(仕入) 兩毛、京阪地方

(販賣) 市内、關東地方

渡邊郁二東京出張所

通鹽町一〇
電話浪花一五七三

(卸) 西陣帶地

(仕入) 京都
(販賣) 市内及長野、山梨、關東、常磐、福島

渡邊定次郎

新葺町五
電話浪花二三〇九・三三二〇

(卸) 雜綿布、瓦斯毛

(仕入) 福井、埼玉、京都、愛知
(販賣) 市内、大阪、名古屋

加藤正次郎

新和泉町二
電話浪花四〇九二
振替東京一九二〇九

(卸) 西陣、京吳服、兩毛其他ノ織物

(仕入) 京都、兩毛其他ノ產地
(販賣) 東京

加藤善右衛門

堺町三
電話浪花四三七五
振替東京一三〇九三

(卸) 織物

(仕入) 東東近在、所澤、青梅、遠州、三州、名古屋、
大阪 (販賣) 東北地方、北海道

門田嘉右衛門商店

通旅籠町九
電話浪花三〇三

(卸) 太物

(仕入) 東京近在、兩毛、尾州
(販賣) 東北、北海道、近縣

川村千代吉商店

堺町五
電話浪花二九〇〇
振替東京一八三八九

(卸) 綿近在兩毛綿織物、絹綿交織物

(仕入) 兩毛近在、各產地
(販賣) 關西、關東地方

川口安治郎

桶町一ノ七
電話浪花五七〇五
振替東京一六〇八七

(卸) 洋傘、綿布

(仕入) 和歌山、大阪、名古屋、市内
(販賣) 關東、東北

川喜田商店東京支店

大傳馬町一ノ一七
電話浪花一五三・一五四
振替東京一四九九五

(卸) 綿布

(仕入) 京阪地方及名古屋、知多、三河、遠州
(販賣) 市内、近在

柿原萬藏支店

通旅籠町四
電話浪花七九・一四四〇・五六八
振替東京二九八八五

(卸) 染絹、秩父銘仙

(仕入) 埼玉、群馬、石川、福島
(販賣) 全國

亀屋商店

堺 町 三
電話浪花 三九二四
振替東京 三六九六九

横井商店横井健次郎

元 濱 町 一八一
電話浪花 三一六九・三六一〇

(卸) 絹布、綿織物

(仕入) 群馬、栃木、埼玉、愛知、山梨

(販賣) 神奈川、千葉、埼玉、静岡、茨城

(卸) 綿ネル、綿縮、雜綿布

(仕入) 東京市内、和歌山、上州、足利、大阪、名古屋

(販賣) 布内地方全般

柏吉五郎商店

新 和 泉 町 五
電話浪花 一三六・二六九九

吉野藤東京支店

長 谷 川 町 七
電話浪花 四三〇七
振替東京 四八二四

(卸) 辨慶染、木綿、中形、裏地

(仕入) 市内 (販賣) 市内、關西

(卸) 伊勢崎、秩父、甲斐絹、館林、桐生、足利、八

王寺、茨澤、越後、京吳服、生絹加工、セール、本大

島、遠州近在、所澤、青梅、長井、紬、唐糸

(仕入) 各産地

(販賣) 市内、青森、秋田、山形、宮城、岩手、新潟、

長野、石川、富山、福井、茨城、栃木、群馬、埼玉、

千葉、神奈川、静岡、愛知

神野清五郎商店

富 澤 町 一三
電話浪花 三三・五四・五五
振替東京 三六〇

(卸) 關東絹布、關西綿布

(仕入) 關東、尾州、遠州、關西地方

(販賣) 市内及信越、東北地方、北海道

田端屋商店

大 傳 馬 町 一、二二
電話浪花 一二二・一二三
振替東京 三五二七

(卸) 綿ネル、綿布一式

(製造) 綿布染色加工

(仕入) 静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、和歌山、愛媛

徳島、福島

(販賣) 東京、千葉、神奈川、山梨、長野、茨城、栃木

群馬、福島、宮城、山形、秋田、岩手、青森、北海道

谷源商店

通 油 町 一 九
電話浪花 二一一・一三
振替東京 一六五四五

(卸) 和洋織物

(仕入) 市内及大阪 (販賣) 市内

谷澤商店

村 松 町 三 四
電話浪花 一一九五

(製造) 中形、金巾、裏地

(仕入) 東京市中、足利、大阪、京都、名古屋

(販賣) 東京、關西、九州、臺灣、名古屋

田源商店

長 谷 川 町 二
電話浪花 六四・二〇四
振替東京 一五〇四八

(卸) 京都、越後、八王寺、桐生、吳服物、尾州毛織物、麻布

(製造) 絹織物染色加工

(仕入) 京都、越後、八王寺、桐生、尾州

(販賣) 市内及地方

高橋久吉商店

通 油 町 一 七
電話浪花 二五五一
振替東京 一〇三八三

(卸) 和洋織物

(仕入) 東京、大阪、

(販賣) 東京市内、近縣及福島

高橋新四郎

通旅籠町 二二三
電話浪花 六七〇八
振替東京 五八八五五

高田合名會社

通油町 二二一
電話浪花 五八八六
振替東京 一七〇九

(卸) 着尺、筒子、廣巾、雜綿布、並ニ加工綿布

(製造) 雜綿布

(仕入) 埼玉、青梅、並ニ關西方面

(販賣) 京阪、京濱、信越、東北地方、並ニ上野地方、濠洲方面

(卸) 織物、絹布

(仕入) 京都市、東京市、埼玉、栃木、新潟、福井

(販賣) 東京市内、埼玉、茨城、福島、宮城、栃木、千葉、神奈川、靜岡

高經商店

橋町 四ノ一
電話浪花 二五一六
振替東京 五四三六八

竹藤商店

橋町 三ノ一四
電話浪花 三四六二

(卸) 中形浴衣地(出) 裏地、捺染類、染色品(出)

(製造) 染色加工

(仕入) 京都、大阪、名古屋、東京

(販賣) 市内、地方、米國、南洋、比律賓、タバオ市、布哇

(卸) 毛綿メリヤス類、綿布、仕立物

(仕入) 市内、名古屋、大阪

(販賣) 地方及市内

建石角次郎

長谷川町 六一
電話浪花 九〇〇一
振替東京 八六二五

澤田常商店東京支店

通油町 一五
電話浪花 七〇〇二
振替東京 五二七二

(卸) 京吳服

(仕入) 產地 (販賣) 東京市内及地方

土屋留次郎商店

本町 四ノ一七
電話日本橋 五九三・三五五七
振替東京 一九四〇一

(卸) 八王寺織物、伊勢崎秩父織物、甲州織物、セー、青梅織物

(仕入) 八王寺、甲州、伊勢崎、秩父、尾州、青梅

(販賣) 市内、横濱、東海道、東北、信越

瀧為太郎

堀留町 二ノ五
電話浪花 三六・三四・三三五
振替東京 二七七九八

(卸) 各國織物

(仕入) 大阪、京都、伊豫、久留米、備後、阿波、名古屋、濱松、長岡、栃尾、足利、館林、米澤、八王寺、伊勢崎、秩父、其他各地

(販賣) 信州、愛知、東北、北海道、樺太

瀧川忠三郎東京店

新材木町 一五
電話浪花 三二六二

(卸) 京吳服

(仕入) 產地 (販賣) 市内

辻義三郎

通油町 四七五
電話浪花 三八二〇六
振替東京 八二〇六

(卸) 織物(絹布、綿布、絹綿交織物、毛織及染糸)

(仕入) 兩毛、八王寺、所澤、京都、松山、甲州、尾州、遠州、三州、久留米、青梅各地方

(販賣) 關東及東京市内

辻 金之助

富 澤 町 八
電話浪花 四 六 九
振替東京 二 九 八 四

(卸) 綿布
(仕入) 市内、京阪、名古屋
(販賣) 近縣、奥州

塚本伊三郎商店

通 旅 籠 町 八
電話浪花 一 一 九 二

(卸) 純毛ヤール、遠三織物、新セール、東京近在品
尾濃織物、足利物産、中野緋、伊豫緋、青梅夜具地、
大和緋、久留米緋、捺染緋、備後播州織物、小巾英ネ
ル、黒八丈一式、文化コート、帯芯一式
(仕入) 東京、京都、大阪及各産地
(販賣) 關東八州、横濱、奥州一團、東海道方面

塚本平吉

伊 勢 町 四
電話日本橋 一 八 三 二
振替東京 一 四 一 一

(卸) 綿布
(仕入) 京、阪、尾、三遠
(販賣) 東京及近縣各地

塚本勘兵衛

長 谷 川 町 七
電話浪花 一 一 六 二 四 一 五 〇

(卸) 京吳服、關東織物
(仕入) 京都、桐生、高崎
(販賣) 生地加工
(販賣) 市内及關東地方

塚本彌七郎

葺 屋 町 九
電話浪花 四 二 七 三

(卸) 木綿、金巾、染緋類
(製造) 金巾、裏地、中形類一式
(仕入) 京都、大阪、東京
(販賣) 近縣及東北地方

塚本三藏

富 澤 町 二
電話浪花 四 〇 四 八

(卸) 綿布
(仕入) 京、阪、四國、九州、尾張、三河、濱松、埼玉
(販賣) 東京附近、奥羽地方、海岸地方、房總東武方面

塚本商店

伊 勢 町 八
電話日本橋自二三一至二三六
振替東京 三 〇 〇 一

(卸) 絹布、綿布、毛織、交織物
(仕入) 内地 (販賣) 内地

塚本善之助商店

通 油 町 二 二
電話浪花 四 四 五
振替東京 五 七 九 四

(卸) 綿布(裏地、中形) 毛織物(毛布、角卷、蚊帳)
(仕入) 京、阪、名古屋、伊豫、三河、東京
(販賣) 山形、秋田、埼玉、栃木、茨城、千葉

成澤善兵衛商店

橘 町 一 五
電話浪花 四 八 二
振替東京 一 九 六 二 〇

(卸) 金巾裏地、中形浴衣地、遠三州綿物
(製造) 金巾裏地、中形浴衣地
(仕入) 大阪、京都、名古屋、遠江、三河、埼玉、東京
(販賣) 東京、横濱

仲彦太郎

新 大 阪 町 四
電話浪花 一 二 六 五
振替東京 二 七 六 八 六

(卸) 織物
(仕入) 武州、遠州、三州、伊豫
(販賣) 市内、近縣

中井合名會社

通 油 町 六
電話浪花 二 二 三 三 四 九

(卸) 絹布及綿布織物
(仕入) 京都、兩毛
(販賣) 東京、神奈川、東北地方

中川作右衛門

橘 町 二 九
電話浪花 五 六 九
振替東京 二 二 〇 一 一

(卸) 吳服
(仕入) 京都 (販賣) 東京、近縣

中川平七商店

彌生町 一
電話浪花 一一八五・二五五七
振替東京 五三四七二

(卸) 綿織物
(販賣) 東京、各地

中村合名會社

彌生町 四
電話浪花 五三三・八〇九
振替東京 一三〇六一

(卸) 樂々中形、業平裏地、捺染緋、其他加工綿布、
羽衣印蚊帳、麻布、麻糸
(製造) 加工布、蚊帳
(仕入) 東京、近縣、名古屋、濱松(綿布類)滋賀、奈良
石川(蚊帳) 東京(麻糸)
(販賣) 京阪、東海道、北陸、甲信越、名古屋、東北、
北海道、東京及近縣

中村綿布部

橋町 一、八
電話浪花 五四五一
振替東京 五九〇八

(卸) 綿布
(仕入) 尾州、所澤、川越、遠州、足利、外東京附近

中村重太郎

富澤町 一
電話浪花 一二一五
振替東京 一三一二七

(卸) 金巾裏地、中形
=於テ(製造) 同上
(仕入) 大阪、京都、近縣
(販賣) 全國各地、市内

中野合名會社

久松町 一
電話浪花 三六四四

(卸) 綿布
(仕入) 市内、大阪、高息
(販賣) 市内

中島伊平

新材木町 七
電話浪花 一七
振替東京 二二一四五

(卸) 染絹、秩父絹、伊勢崎銘仙、八王寺物産、甲斐
絹、染絹類()
(製造) 染絹類ノ加工
(仕入) 群馬、埼玉、石川、甲州
(販賣) 東京、東海道、東京近縣、信越、奥州、北海道
新嘉坡

中島仙助出張店

大傳馬町 二ノ一四
電話浪花 一二五
振替東京 六四四

(卸) 染絹
(仕入) 上、武州其他
(販賣) 市内、東北、常野、京、阪

長岡喜兵衛商店

新大阪町 八
電話浪花 八三二
振替東京 六七九三

(卸) 裏地(土俵印) 仕立袴(式部印)發賣元、ゼル類
一式
(仕入) 東京、尾張、大阪、備前、遠州、三洲
(販賣) 東京市、横濱、八王寺、東北地方、栃木、群馬
茨城

村越庄左衛門

長谷川町 二八
電話浪花 四一五・七五一二
振替東京 五六六四一

(卸) 縮緬、羽二重、白生地類
(仕入) 京都、桐生、高崎
(販賣) 東京、横濱

宇野文商店

新大阪町 五
電話浪花 六二〇・六〇二一
振替東京 二二六五六
(製造) 綿布捺染加工品
(卸) 内地向綿布一式
(仕入) 全國 (販賣) 東京市内及近縣地方

宇佐美商會

新大阪町七
電話浪花五四三〇
振替東京三三六二二

梅原保太郎

田所町九
電話浪花三九一〇
振替東京四一一七

(卸) 綿布、綿ネル
(仕入) 武藏、遠、三、尾各國、大阪、岡山、伊豫
(販賣) 東京及近縣、甲信地方、東海道各縣

(卸) 織物

内田欽藏

富澤町一
電話浪花一九一九
振替東京五〇四五

牛山武兵衛

通四、一
電話日本橋七一五・七一六
振替東京三八八

(卸) 木綿、金巾加工
(仕入) 東京、静岡、愛知、京都、大阪
(販賣) 東京、埼玉、千葉、茨城、栃木、山梨、關西方面

(小賣) 吳服、太物
(仕入) 東京及產地
(販賣) 市内

植村七兵衛商店

横山町三、九
電話浪花六六六
振替東京一二五八〇

野村藤助

橋町一、一二
電話浪花一七一二

(卸) 足袋、綿布、ゴム靴、ゴム足袋
(小賣) 足袋、メリンス (製造) 足袋
(仕入) 大阪、濱松、埼玉 (販賣) 臺灣、近縣、市内

(卸) 中形裏地 (製造) 同加工
(仕入) 大阪、名古屋、知多、濱松、東京

野村合資會社

長谷川町四
電話浪花二六一九・七七二七

黒部八郎平

本町四ノ一二
電話日本橋六七五・二九九八

(卸) 綿布生地及加工品、モスリン
(仕入) 東京、名古屋、大阪

(卸) 吳服
(仕入) 京都本店
(販賣) 市内、地方

久保田商店東京店

小舟町一ノ三
電話浪花三六・三七五・三三〇

黒川善一商店

米澤町一ノ二
電話浪花四九

(卸) 吳服、綿織物、洋反物
(仕入) 全國
(販賣) 全國

(卸) 絹織物、麻布、着尺其加工品
(製造) 絹織物、綿織物
(仕入) 米津、山形、長井、越後、栃尾、東京
(販賣) 東京市

久留米屋商店

彌敷町二ノ五
電話浪花五五六二
振替東京三八七二八

栗原宗治商店

通鹽町一二
電話浪花一四六六・五三九〇

(小賣) 久留米餅
(仕入) 久留米

(卸) 金巾、太物 (製造) 中形裏地
(仕入) 大阪、京都、名古屋、濱松
(販賣) 東京及近縣、東北

山鹿信造

長谷川町八
電話浪花二〇七九
振替東京一九〇八

(卸) 西陣織物、染吳服
(仕入) 京都 (販賣) 東京及近縣

山田商店東京支店

高砂町九
電話浪花二七・五〇・五四〇・五四一
振替東京二一四七八

(卸) 西陣染吳服、琉球絹綿布、關東產絹布、關西產絹布 (販賣) 全國各地

山喜商店

橋町二ノ五
電話浪花五〇三

(卸) 各種織物
(仕入) 京都及關東地方
(販賣) 東京、東北、信越地方

山下忠七郎商店

長谷川町一四
電話浪花一七七・三四三九
振替東京三四二八

(卸) 吳服太物
(仕入) 兩毛、西京、遠、三、尾、久留米、伊豫、八王寺、東京、大阪
(販賣) 東海道、東北地方、近縣

山本嘉七

久松町一三
電話浪花二六九二
振替東京一〇二一

(卸) 各地織物

山本元三郎商店

長谷川町一〇
電話浪花五八・一六五・四七五
振替東京一七七六六

(卸) 加工綿布
(仕入) 全國 (製造) 同上

山本清商店

長谷川町二四
電話浪花一七四五
振替東京五六二〇

(卸) 綿織物
(仕入) 東京、埼玉、群馬、濱松
(販賣) 京阪、名古屋、中國、九州、北海道、東京市内

丸太柴田商店東京支店

葺屋町六
電話浪花二八七・二八八

(卸) 白生地、京吳服、半襟、別珍、天鷲絨
(仕入) 京都、滋賀
(販賣) 市内

安源合資會社

橋町一ノ六
電話浪花九七五〇
振替東京四一二九

(卸) 織物
(仕入) 兩毛、近在、所澤、青梅、八王子、遠州、尾州
(販賣) 東北、北陸、信越、北海道

丸爲合資會社東京支店

大傳馬町二ノ一八
電話浪花一〇一九

(卸) 綿ネル、綿布、綿縮
(仕入) 和歌山縣
(販賣) 市内、近縣、東北地方

丸江商店東京出張所

堀江町二ノ八
電話浪花四一七〇・四五九一

(卸) 京吳服、西陣織物、丸重染紋附
(仕入) 京都
(販賣) 市内、東北、東海道、信州

丸山合資會社

米河岸十六號地
電話日本橋二九二八

(卸) 綿布、絹綿交織
(仕入) 内地
(販賣) 内地

丸正 増田 商店

通 油 町 一 一
 電話浪花 自六三〇至六三二
 振替東京 六 九 五 六
 (卸) 京呉服、兩毛織、秩父銘仙、青梅、遠・三・尾、關西、甲斐絹、綿布、米津織、セル、捺染緋
 (販賣) 東京、關東、靜岡、信越、東北、奥羽、北海道

丸久 合名會社

新材 木 町 一 二
 電話浪花 三 〇 八
 振替東京 五 〇 八 五
 (卸) 浴衣地 (新江戸) 裏地 (太鼓印) 及綿布
 (製造) 浴衣地、裏地
 (仕入) 京阪、東京
 (販賣) 京阪、東海道、東北、京濱

松居織工場東京出張所

新材 木 町 五
 電話浪花 四 七 二 七
 (卸) 博多帶地、西陣織物、帶地 (小賣) 同上
 (製造) 同上 (福岡支店ニテ)
 (仕入) 博多、京都
 (販賣) 全國、滿洲、支那

松太綿布株式會社東京出張

大傳馬 鹽町 一 七
 電話浪花 二 四 二 四
 (卸) 綿ネル、綿布
 (製造) 綿ネル、綿布

松下 合名會社

新材 木 町 一 四
 電話浪花 八 五 六・九 〇 三
 振替東京 五 三 八
 (卸) 絹綿、織織物
 (製造) スカール染、中形
 (仕入) 兩毛、近在、遠・尾・甲、八王子、米津、十日町
 (販賣) 市内、近縣

前川 太郎 兵衛

堀留 町 二 八
 電話浪花 二 九 二・二 九 三
 (卸) 綿布加工
 (製造) おかめ印裏地
 (仕入) 京・阪、東京市内
 (販賣) 京・阪、東京及近縣、東北地方

前川 商會

富 澤 町 一 九
 電話浪花 八 四 八・四 五 七 一
 振替東京 五 三 四 四
 (卸) 綿布生地、晒、縞、緋、捺染緋、無地物、手拭
 手拭染(出) テーブル掛(出)
 (製造) 同上加工
 (仕入) 京・阪、尾・三、伊豫
 (販賣) 東京及近縣、東北地方、米、南洋

古莊 株式會社出張所

久 松 町 一 七
 電話浪花 三 四 〇
 (卸) 白生地、友仙類、御絞附地、着尺類、西陣帶地
 裏絹類
 (販賣) 市内外

深田 與三 兵衛

富 澤 町 二 一
 電話浪花 九 〇 四・二 九 〇 九
 振替東京 一 一 〇 七 九
 (卸) 呉服、麻布、染絹
 (仕入) 京都、近江、大和、能登、越後
 (販賣) 橫濱、東京及近縣、東北

不破 彌與 衛門

堺 町 三
 電話浪花 二 七 五 五
 (卸) 呉服、洋反物
 (仕入) 京都市、大阪市
 (販賣) 市内、長野、山梨縣

不破 商店

富 澤 町 三
 電話浪花 四 〇 四 一
 振替東京 四 二 五 四
 (卸) 綿織物
 (仕入) 遠江、三河、名古屋、京都、大阪
 (販賣) 地方

福田 商店

橋 町 一 九
 電話浪花 一 二 九 六
 振替東京 五 一 六 二
 (卸) 呉服、木綿
 (仕入) 地方
 (販賣) 市内及地方